（そー４）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事

工事設計図

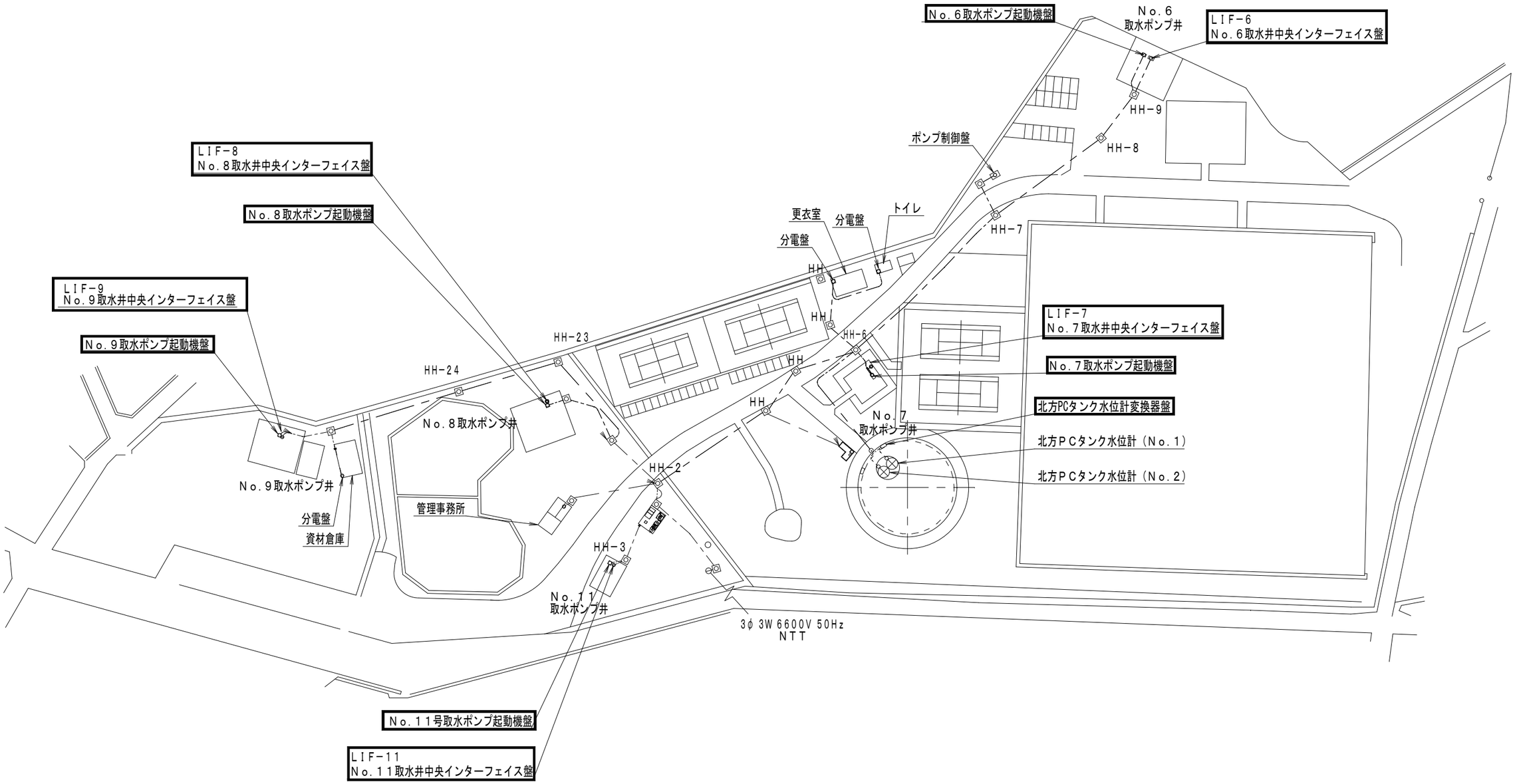
令和５年度

甲　府　市　上　下　水　道　局

図　面　リ　ス　ト

番　号	図　面　名　称	縮尺（A1,A3）	番　号	図　面　名　称	縮尺（A1,A3）
	【（そ-4）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事】				
E-001	全体配置図	1/1000（A1） 1/2000（A3）	A-001	特記仕様書(1)	NONE
E-002	取水井6号対策図（現況）	1/15,1/25,1/50（A1） 1/30,1/50,1/100（A1）	A-002	特記仕様書(2)	NONE
E-003	取水井6号対策図（今回）	1/50（A1） 1/100（A3）	A-003	特記仕様書(3)	NONE
E-004	取水井7号対策図（現況）	1/15,1/25,1/50（A1） 1/30,1/50,1/100（A1）	A-004	取水井6・7・11号 新設鋼製架台 詳細図	1/5,1/20,1/50（A1） 1/10,1/40,1/100（A3）
E-005	取水井7号対策図（今回）	1/50（A1） 1/100（A3）	A-005	取水井8号 新設鋼製架台 詳細図	1/5,1/20,1/50（A1） 1/10,1/40,1/100（A3）
E-006	取水井8号対策図（現況）	1/15,1/25,1/50（A1） 1/30,1/50,1/100（A1）	A-006	取水井9号 新設鋼製架台 詳細図	1/5,1/20,1/50（A1） 1/10,1/40,1/100（A3）
E-007	取水井8号対策図（今回）	1/50（A1） 1/100（A3）			
E-008	取水井9号対策図（現況）	1/15,1/25,1/50（A1） 1/30,1/50,1/100（A1）	S-001	取水井6・7・11号新設鋼製架台構造図	1/30,1/40,1/100（A1） 1/60,1/80,1/200（A3）
E-009	取水井9号対策図（今回）	1/50（A1） 1/100（A3）	S-002	取水井8号新設鋼製架台構造図	1/30,1/40,1/100（A1） 1/60,1/80,1/200（A3）
E-010	取水井11号対策図（現況）	1/15,1/25,1/50（A1） 1/30,1/50,1/100（A1）	S-003	取水井9号新設鋼製架台構造図	1/30,1/40,1/100（A1） 1/60,1/80,1/200（A3）
E-011	取水井11号対策図（今回）	1/50（A1） 1/100（A3）			
E-012	北方ＰＣタンク水位計変換器盤図	1/20,1/200（A1） 1/40,1/400（A1）			
E-013	延長接続用P.BOX選定根拠図	1/20（A1） 1/40（A3）			

工　事　名	（そー4）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事				
工 事 場 所	昭和町西条２３８７（昭和北方水源内）				
図　面　名	図面リスト	縮 尺	NON	分 割	E－000
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.		

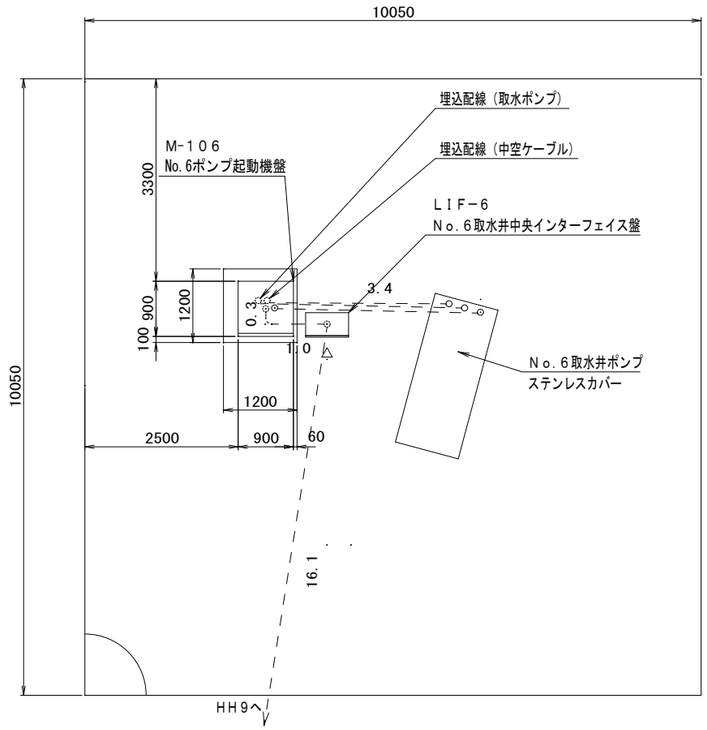


注）

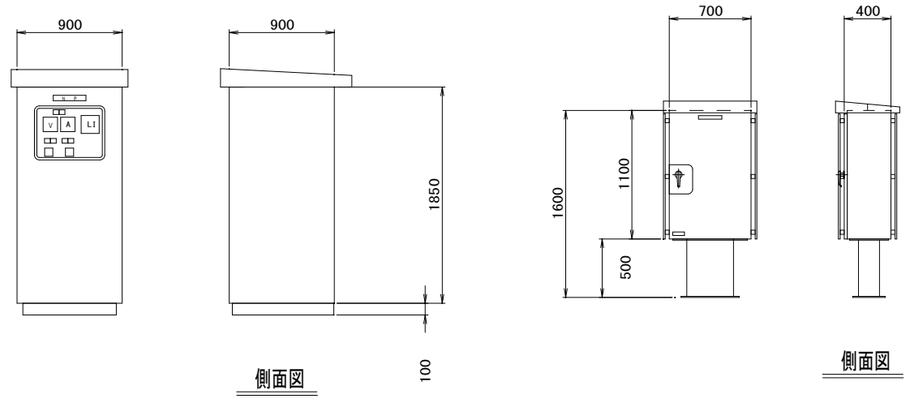
1. ▭ は今回工事を示す。

全体配置図（Ｓ＝１／１０００）

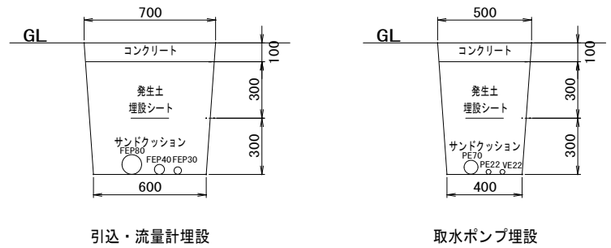
工事名	（そ－４）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事				
工事場所	昭和町西条2387（昭和北方水源内）				
図面名	全体配置図	縮尺	A1 S=1:1000 A3 S=1:2000	分割	Ｅ－001
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.		



No.6取水井平面図（S＝1／50）



No6取水ポンプ起動機盤/取水井中央インターフェイス盤外形図（S＝1／25）



No6取水井埋設断面図（S＝1／15）

浸水被害設備

機　器　名　称	盤番号	サ　イ　ズ	質　量	対　策　方　針
No.6取水ポンプ起動機盤	M-106	900W×900D×1950H	950　kg	屋外電気盤の高所化(1.8m)
No.6取水井中央インターフェイス盤	LIF-6	700W×400D×1600H	450　kg	屋外電気盤の高所化(1.8m)

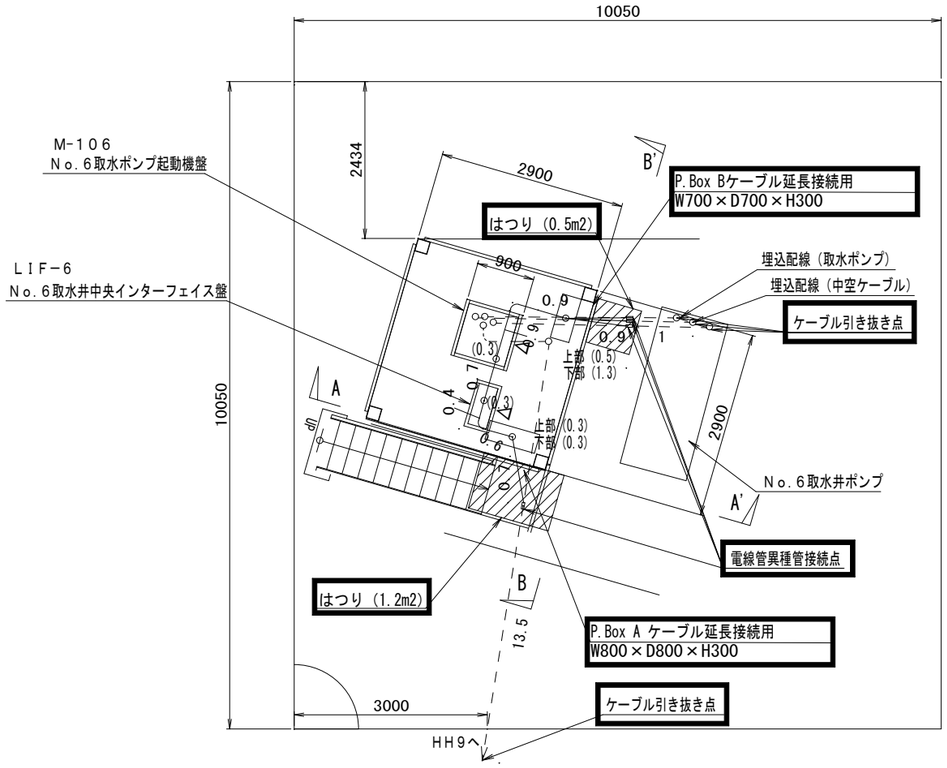
※流量計（水中仕様）

ケーブル一覧

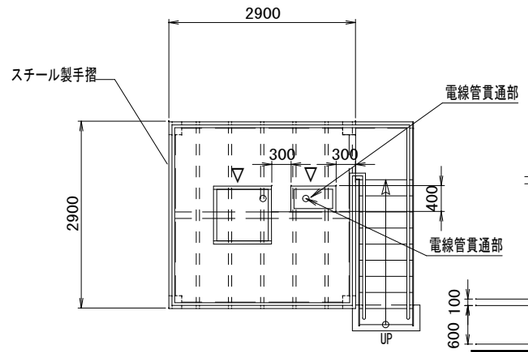
自	機　器　名　称	至	機　器　名　称	ケーブル	電線管	直線接続材	対　策	備　考
	既設HH		No.6取水ポンプ起動機盤	600V CET150sq	(低圧) FEP80			動力用
	No.6取水ポンプ起動機盤		No.6取水井ポンプ	中空ケーブル	(計装) PE22			水位計信号線
	〃		〃	2PNCT14sq-3c×2	(低圧) PE70			ポンプ動力ケーブル
	〃		〃	VCT 0.75sq-2c	(低圧) PE70			MA電極付、空転防止
	〃		〃	IV14sq	(低圧) VE22			盤及び井戸ふたアース
	〃		No.6取水流量計	CVVSB 1.25sq-4c	(計装) FEP40			
	No.6取水井中央インターフェイス盤		No.6取水ポンプ起動機盤	CEE 1.25sq-10c				
	〃		〃	600V CE 5.5sq-2c				
	〃		〃	600V CE 3.5sq-2c				
	〃		〃	600V CE 3.5sq-2c				
	〃		〃	CEE 1.25sq-3c				
	〃		〃	CEE 3.5sq-3c				
	〃		〃	CEE 3.5sq-2c				
	〃		〃	CEE 3.5sq-4c				
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-2c				水位計信号
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-6c				流量積算計
	〃		No.6～9，11取水井テレメータ収納盤(子局)	CEE-S 1.25sq-20c	(計装) FEP40			
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-4c	(計装) FEP40			
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-2c	(計装) FEP40			

昭和北方水源
取水井６号（6号井）
計画浸水深　1.8(GL+m)
（現況）

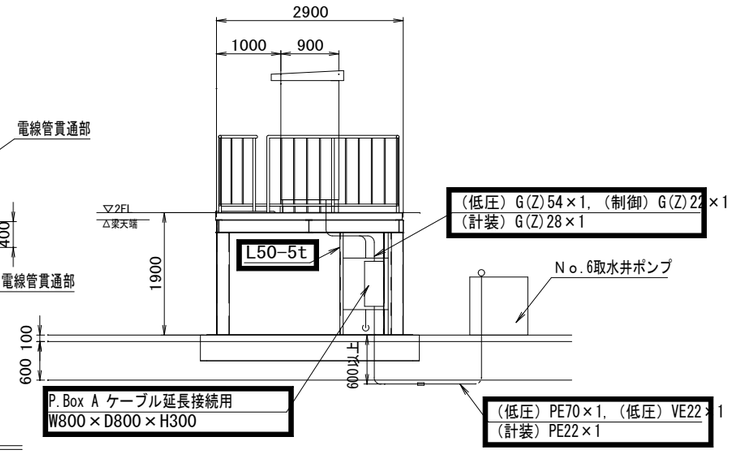
工　事　名	（そー4）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事				
工事場所	昭和町西条2387（昭和北方水源内）				
図　面　名	取水井6号対策図（現況）	縮　尺	A1 S1=1:15・25・50 A3 S1=1:30・50・100	分　割	E－002
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.		



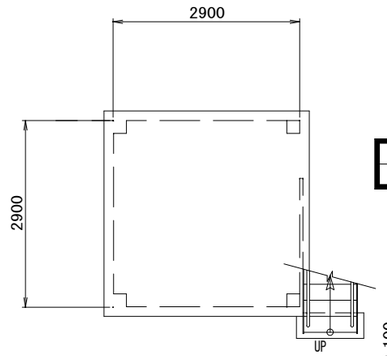
No.6取水井平面図（S＝1／50）



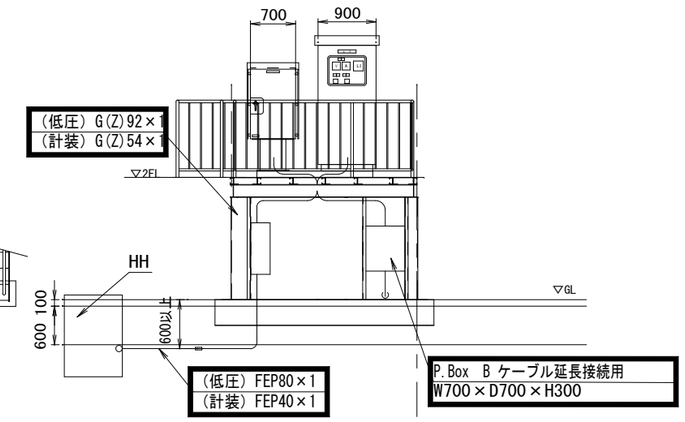
上部平面図（S＝1／50）



A-A'立面図（S＝1／50）



下部平面図（S＝1／50）



B-B'立面図（S＝1／50）

ケーブル一覧（P.BOX A　HH側）

自	機器名称	至	機器名称	ケーブル	電線管（異種電線管前）	電線管（P.BOX一次側）	電線管（P.BOX二次側）	直線接続材	対策	備考
	既設HH		No.6取水ポンプ起動機盤	600V CET150sq	(低圧) FEP80	(低圧) FEP80	(低圧) G(Z)92		ケーブルは余長を利用	動力用
	No.6取水井中央インターフェイス盤		No.6~9, 11取水井テレメータ収納盤(子局)	CEE-S 1.25sq-20c	(計装) FEP40	(計装) FEP40	(計装) G(Z)54	J-4E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	監視室
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-4c	(計装) FEP40	(計装) FEP40	(計装) G(Z)54	J-2E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	監視室
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-2c	(計装) FEP40	(計装) FEP40	(計装) G(Z)54	J-2E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	監視室
	No.6取水ポンプ起動機盤		No.6取水流量計	CVVSB 1.25sq-4c	(計装) FEP40	(計装) FEP40	(計装) G(Z)54	J-2E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	

ケーブル一覧（P.BOX B　取水ポンプ側）

自	機器名称	至	機器名称	ケーブル	電線管（異種電線管前）	電線管（P.BOX一次側）	電線管（P.BOX二次側）	直線接続材	対策	備考
	No.6取水ポンプ起動機盤		No.6取水井ポンプ	2PNCT14sq-3c×2	(低圧) PE70	(低圧) FEP80	(低圧) G(Z)54	92-JA1相当×2	ケーブルは新規配線を接続し延長	ポンプ動力ケーブル
	〃		〃	VCT 0.75sq-2c	(低圧) PE70	(低圧) FEP80	(制御) G(Z)22	J-2E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	MA電極付、空転防止
	〃		〃	IV14sq	(低圧) VE22	(低圧) FEP30	(低圧) G(Z)54	82-JA1相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	盤及び井戸ふたアース
	No.6取水ポンプ起動機盤		No.6取水井ポンプ	中空ケーブル	(計装) PE22	(計装) FEP30	(計装) G(Z)28		ケーブルは余長を利用	水位計信号線

ケーブル一覧（盤間渡り）

自	機器名称	至	機器名称	ケーブル	電線管（異種電線管前）	電線管（P.BOX一次側）	電線管（P.BOX二次側）	直線接続材	対策	備考
	No.6取水井中央インターフェイス盤		No.6取水ポンプ起動機盤	CEE 1.25sq-10c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	600V CE 5.5sq-2c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	600V CE 3.5sq-2c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	600V CE 3.5sq-2c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 1.25sq-3c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 3.5sq-3c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 3.5sq-2c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 3.5sq-4c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-2c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-6c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃						ケーブルは余長を利用	

浸水被害設備

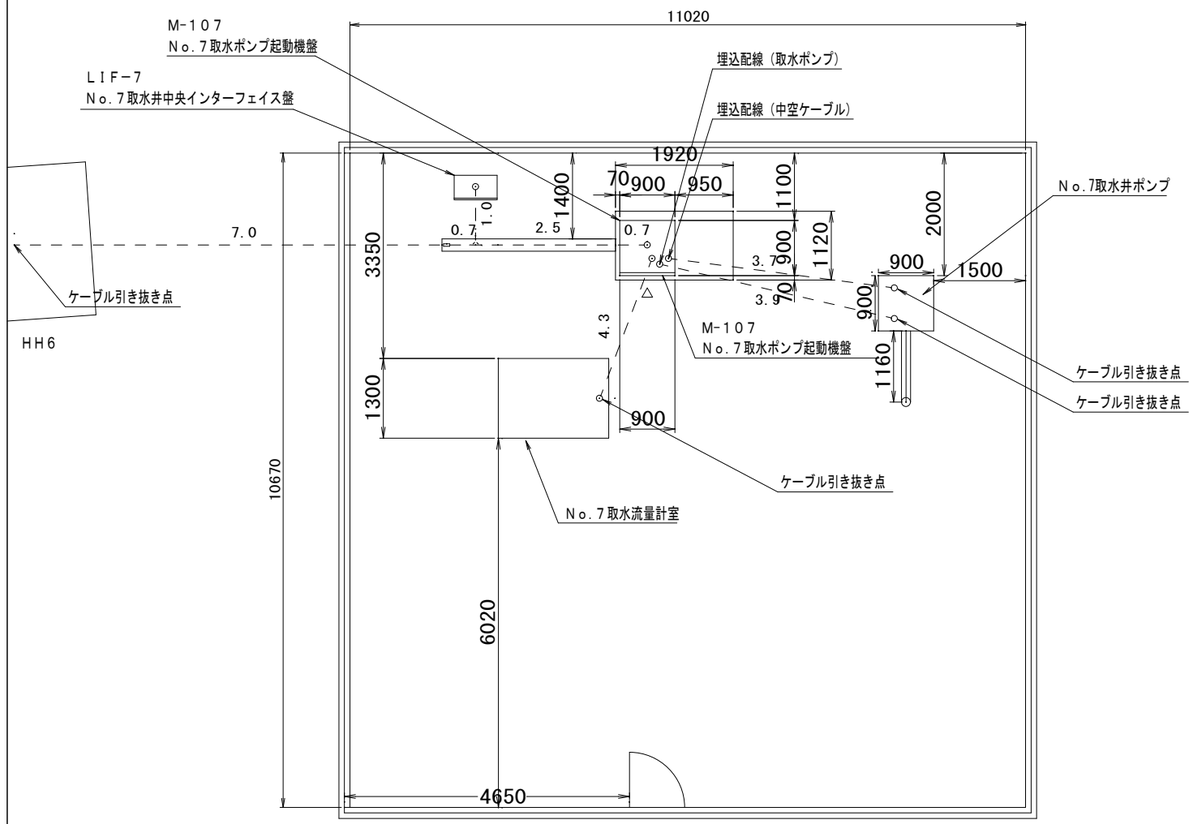
機器名称	盤番号	サイズ	質量	対策方針
No.6取水ポンプ起動機盤	M-106	900W×900D×1950H	950 kg	屋外電気盤の高所化(1.8m)
No.6取水井中央インターフェイス盤	LIF-6	700W×400D×1600H	450 kg	屋外電気盤の高所化(1.8m)

※流量計（水中仕様）

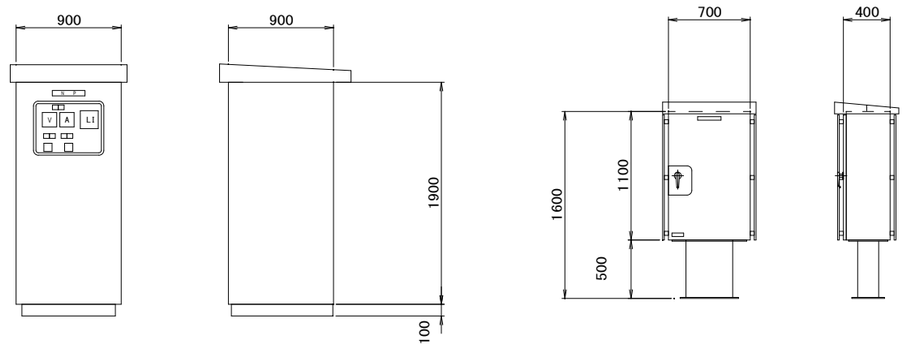
注）

1. ▭、── は今回工事を示す。
2. 高所架台への盤移設や基礎かさ上げの際は、停電作業を基本とする。
3. 現場盤類は、想定浸水深以上の位置にかさ上げする。
   なお、配線については、盤のかさ上げが+500mm未満の場合は既設ケーブルを流用とし、（余長を利用する）+500mm以上の場合は、新規ケーブルを継足し延長接続をする。
4. 中空ケーブルについては、既設想定を想定している。
   ただし、電線管のルートは、最短ルートで設計する。
5. 各取水井流量計の浸水対策工事は今回範囲に含まない。
6. インターフェイス盤とポンプ制御盤間の配線は、盤のチャンネルベース内をピットとみなして配線を行う。
7. ポンプ起動機盤への電線管立ち上がり部は、可とう管にて行う。
9. 新設する電線管は、内外面ともに溶融亜鉛めっきされた厚鋼電線管Z相当品とする。

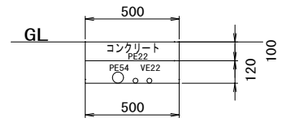
工事名	（そー4）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事				
工事場所	昭和町西条2387（昭和北方水源内）				
図面名	取水井6号対策図（今回）	縮尺	A1 S1=1:50 A3 S1=1:100	分割	E－003
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.		



No.7取水井平面図（S＝1／50）



No7取水ポンプ起動機盤/取水井中央インターフェイス盤外形図（S＝1／25）



取水ポンプ埋設

No7取水井埋設断面図（S＝1／15）

浸水被害設備

機器名称	盤番号	サイズ	質量	対策方針
No.7取水ポンプ起動機盤	M-107	900W×900D×2000H	1000 kg	屋外電気盤の高所化(1.8m)
No.7取水井中央インターフェイス盤	LIF-7	700W×400D×1600H	450 kg	屋外電気盤の高所化(1.8m)

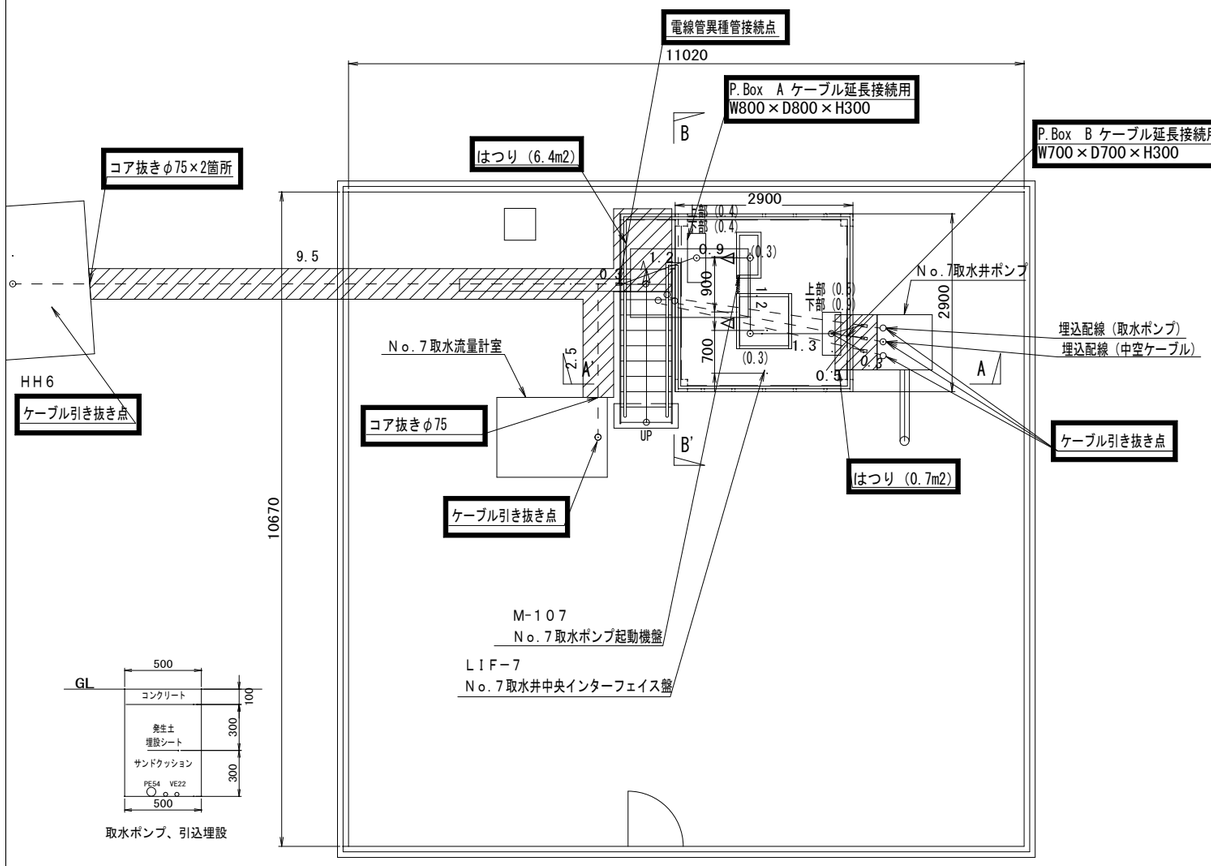
※流量計（水中仕様）

ケーブル一覧

自	機器名称	至	機器名称	ケーブル	電線管	直線接続材	対策	備考
	既設HH		No.7取水ポンプ起動機盤	600V CET60sq	(低圧) FEP65			動力用
	No.7取水ポンプ起動機盤		No.7取水井ポンプ	中空ケーブル	(計装) PE22			水位計信号線
	〃		〃	2PNCT8 -3c×2	(低圧) PE54			ポンプ動力ケーブル
	〃		〃	VCT 0.75sq-2c	(低圧) PE54			MA電極付、空転防止
	〃		〃	IV14	(低圧) VE22			盤及び井戸ふたアース
	〃		No.7取水流量計	CVVSB 1.25sq-4c				流量計
	No.7取水井中央インターフェイス盤		No.7取水ポンプ起動機盤	CEE 1.25sq-10c				
	〃		〃	600V CE 5.5sq-2c				
	〃		〃	600V CE 3.5sq-2c				
	〃		〃	CEE 1.25sq-3c				
	〃		〃	CEE 3.5sq-3c				
	〃		〃	CEE 3.5sq-2c				
	〃		〃	CEE 3.5sq-4c				
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-2c				水位計信号
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-3c				流量計
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-3c				流量積算計
	〃		No.6~9, 11取水井テレメータ収納盤(子局)	CEE-S 1.25sq-20c	(計装) FEP50			
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-4c	(計装) FEP50			
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-2c	(計装) FEP50			

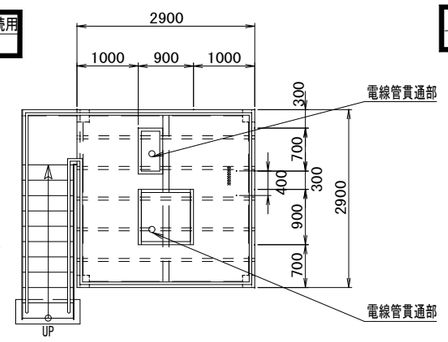
昭和北方水源
取水井７号（7号井）
計画浸水深　1.8(GL+m)
（現況）

工事名	（そー4）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事				
工事場所	昭和町西条2387（昭和北方水源内）				
図面名	取水井7号対策図（現況）	縮尺	A1 S1=1:15・25・50 A3 S1=1:30・50・100	分割	E－004
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.		

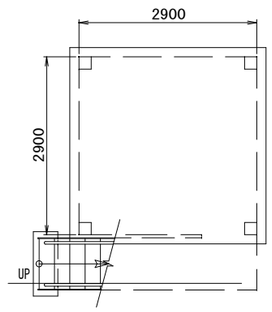


No7取水井埋設断面図（S＝1／20）

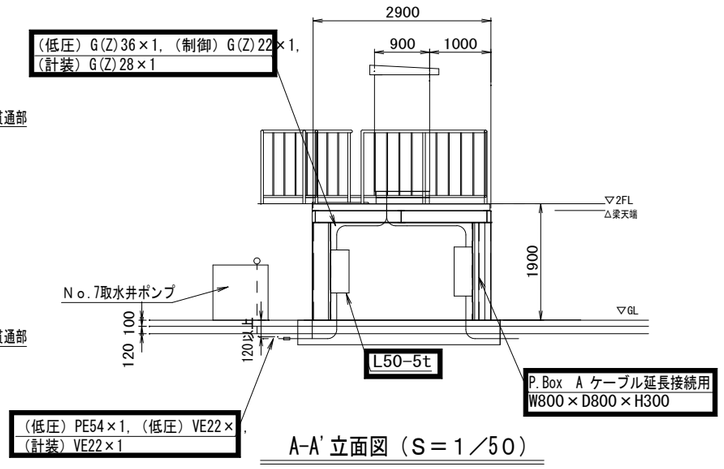
No.7取水井平面図（S＝1／50）



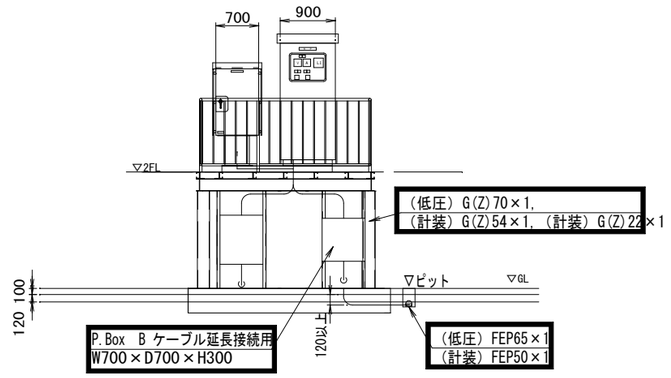
上部平面図（S＝1／50）



下部平面図（S＝1／50）



A-A'立面図（S＝1／50）



B-B'立面図（S＝1／50）

ケーブル一覧（P.BOX A HH側）

自	機器名称	至	機器名称	ケーブル	電線管（異種電線管前）	電線管（P.BOX一次側）	電線管（P.BOX二次側）	直線接続材	対策	備考
	既設HH		No.7取水ポンプ起動機盤	600V CET60sq	（低圧）FEP65	（低圧）FEP65	（低圧）G(Z)70	82-JA2相当×3	ケーブルは新規配線を接続し延長	動力用
	No.7取水ポンプ起動機盤		No.7取水流量計	CVVSB 1.25sq-4c			（計装）G(Z)22	J-2E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	流量計
	No.7取水井中央インターフェイス盤		No.6~9, 11取水井テレメータ収納盤（子局）	CEE-S 1.25sq-20c	（計装）FEP50,（計装）G(Z)54	（計装）FEP50	（計装）G(Z)54	J-4E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	監視室
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-4c		（計装）FEP50	（計装）G(Z)54	J-2E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	監視室
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-2c		（計装）FEP50	（計装）G(Z)54	J-2E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	監視室

ケーブル一覧（P.BOX B 取水ポンプ側）

自	機器名称	至	機器名称	ケーブル	電線管（異種電線管前）	電線管（P.BOX一次側）	電線管（P.BOX二次側）	直線接続材	対策	備考
	No.7取水ポンプ起動機盤		No.7取水井ポンプ	中空ケーブル	（計装）PE22	（計装）FEP30	（計装）G(Z)28		ケーブルは余長を利用	水位計信号線
	〃		〃	2PNCT8 -3c×2	（低圧）PE54	（低圧）FEP80	（低圧）G(Z)36	92-JA1相当×2	ケーブルは新規配線を接続し延長	ポンプ動力ケーブル
	〃		〃	VCT 0.75sq-2c	（低圧）PE54,（制御）G(Z)22	（低圧）FEP80	（制御）G(Z)22	J-2E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	MA電極付、空転防止
	〃		〃	IV14	（低圧）VE22	（低圧）FEP30	（低圧）G(Z)36	82-JA1相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	蓋及び井戸ふた7-ス

ケーブル一覧（盤間渡り）

自	機器名称	至	機器名称	ケーブル	電線管（異種電線管前）	電線管（P.BOX一次側）	電線管（P.BOX二次側）	直線接続材	対策	備考
	No.7取水井中央インターフェイス盤		No.7取水ポンプ起動機盤	CEE 1.25sq-10c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	600V CE 5.5sq-2c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	600V CE 3.5sq-2c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 1.25sq-3c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 3.5sq-3c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 3.5sq-2c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 3.5sq-4c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-2c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-3c					ケーブルは余長を利用	

浸水被害設備

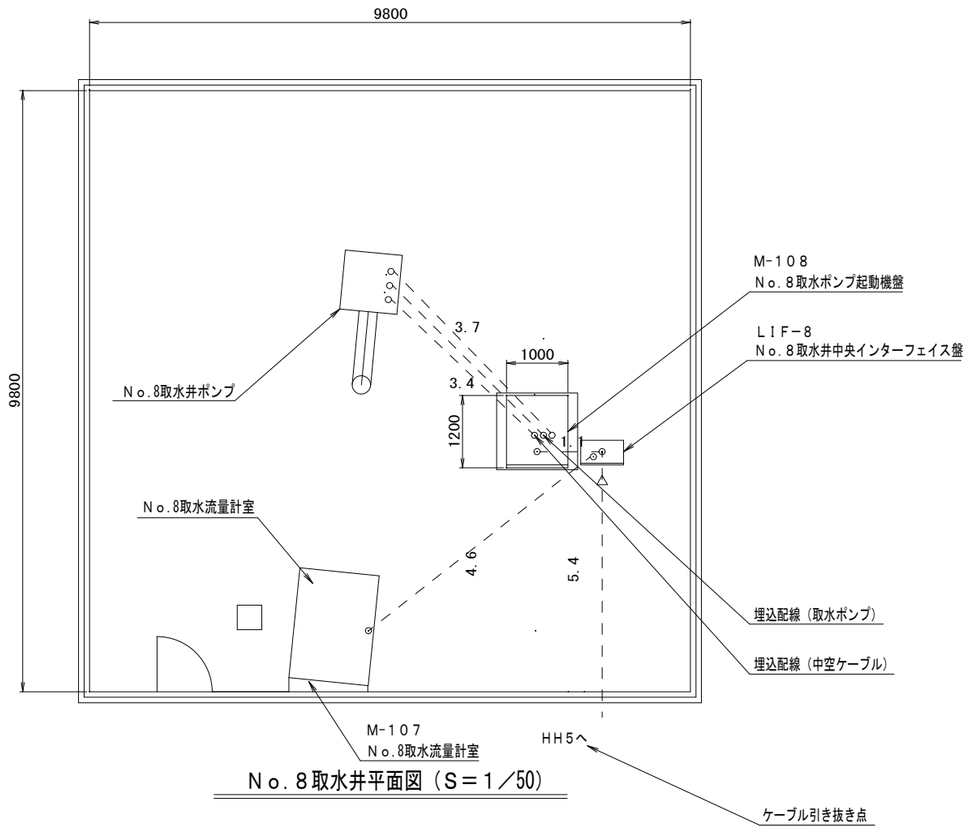
機器名称	盤番号	サイズ	質量	対策方針
No.7取水ポンプ起動機盤	M-107	900W×900D×2000H	1000 kg	屋外電気盤の高所化(1.8m)
No.7取水井中央インターフェイス盤	LIF-7	700W×400D×1600H	450 kg	屋外電気盤の高所化(1.8m)

※流量計（水中仕様）

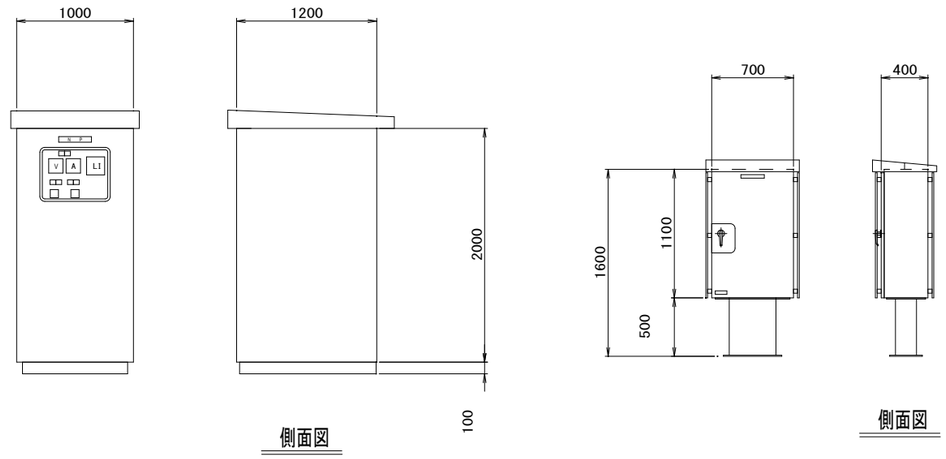
注）

1. ■、── は今回工事を示す。
2. 高所架台への盤移設や基礎かさ上げの際は、停電作業を基本とする。
3. 現場盤類は、想定浸水深以上の位置にかさ上げする。
   なお、配線については、盤のかさ上げが+500mm未満の場合は既設ケーブルを流用とし、
   （余長を利用する）+500mm以上の場合は、新規ケーブルを継足し延長接続をする。
4. 中空ケーブルについては、既設流用を想定している。
   ただし、電線管のルートは、最短ルートで設計する。
5. 各取水井流量計の浸水対策工事は今回範囲に含まない。
6. インターフェイス盤とポンプ制御盤間の配線は、盤のチャンネルベース内をピットとみなして配線を行う。
7. ポンプ起動機盤への電線管立ち上がり部は、可とう管にて行う。
8. 新設する電線管は、内外面ともに溶融亜鉛めっきされた厚鋼電線管Z相当品とする。
9. 既存の配線ピットは電線管布設後、埋め戻すこと。
10. 既設のケーブル埋設深さは、浅いため土工標準図をルートを掘り埋め戻すこと。

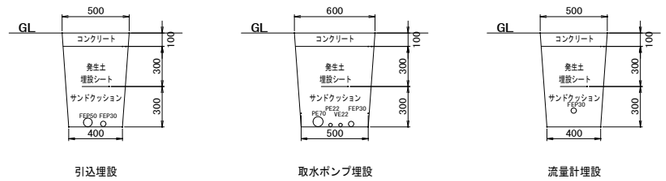
工事名	（そ－4）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事				
工事場所	昭和町西条2387（昭和北方水源内）				
図面名	取水井7号対策図（今回）	縮尺	A1 S=1:50 A3 S=1:100	分割	E－005
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.		



No.8取水井平面図（S＝1／50）



No8取水ポンプ起動機盤/取水井中央インターフェイス盤外形図（S＝1／25）



No8取水井埋設断面図（S＝1／15）

浸水被害設備

機　器　名　称	盤番号	サ　イ　ズ	質　量	対　策　方　針
No.8取水ポンプ起動機盤	M-108	1000W×1200D×2250H	1100　kg	屋外電気盤の高所化(2.3m)
No.8取水井中央インターフェイス盤	LIF-8	700W×400D×1600H	450　kg	屋外電気盤の高所化(2.3m)

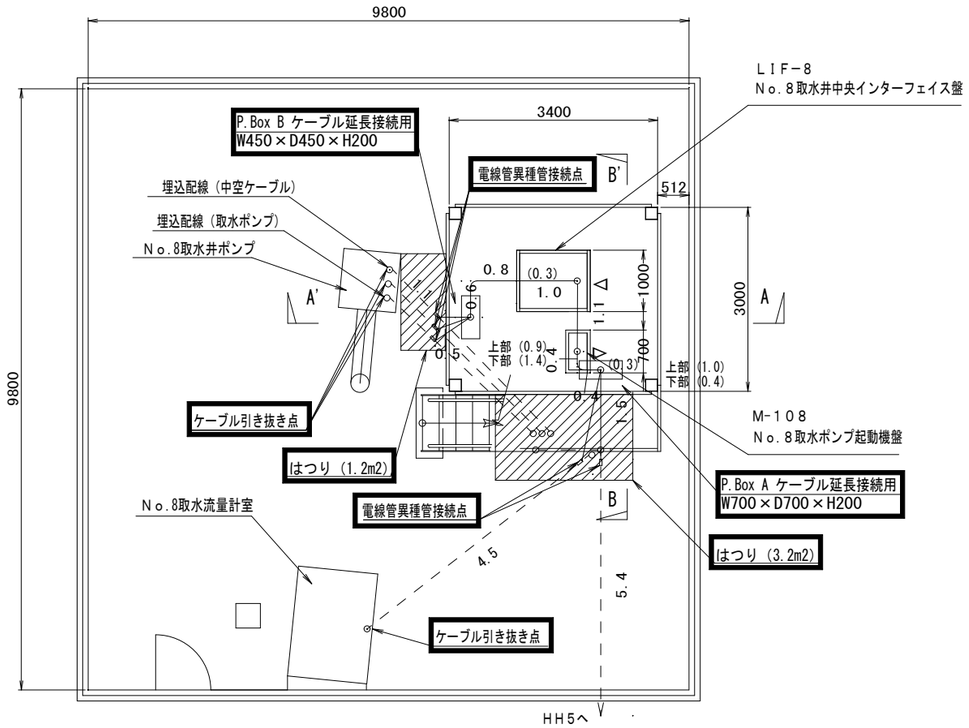
※流量計（水中仕様）

ケーブル一覧

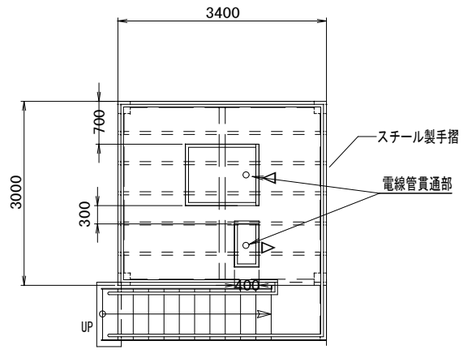
自	機　器　名　称	至	機　器　名　称	ケーブル	電線管	直線接続材	対　策	備　考
	既設HH		取水No.8ポンプ起動機盤	600V CET38sq	(低圧) FEP50			動力用
	取水No.8ポンプ起動機盤		取水No.8ポンプ	中空ケーブル	(計装) PE22			水位計信号線
	〃		〃	CVCT14sq-3C×2	(低圧) PE70			ポンプ動力ケーブル
	〃		〃	VCT 0.75sq-2c	(低圧) PE70			MA電極付、空転防止
	〃		〃	IV14sq	(低圧) VE22			盤及び井戸ふたアース
	〃		No.8取水流量計	CVVSB 1.25sq-4c	(計装) FEP30			流量計
	No.8取水井中央インターフェイス盤		取水No.8ポンプ起動機盤	CEE 1.25sq-10c				
	〃		〃	600V CE 5.5sq-2c				
	〃		〃	CEE 1.25sq-3c				
	〃		〃	CEE 3.5sq-3c				
	〃		〃	CEE 3.5sq-2c				
	〃		〃	CEE 3.5sq-4c				
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-2c				
	〃		No.6~9, 11取水井テレメータ収納盤(子局)	CEE-S 1.25sq-20c	(計装) FEP30			
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-4c	(計装) FEP30			
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-2c	(計装) FEP30			
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-3c	(計装) FEP30			

昭和北方水源
取水井８号（8号井）
計画浸水深　2.3(GL+m)
（現況）

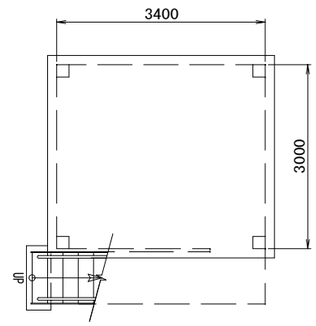
工　事　名	（そ－4）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事					
工事場所	昭和町西条2387（昭和北方水源内）					
図　面　名	取水井8号対策図（現況）	縮　尺	A1 S1=1:15・25・50 A3 S1=1:30・50・100	分　割	E－006	
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.			



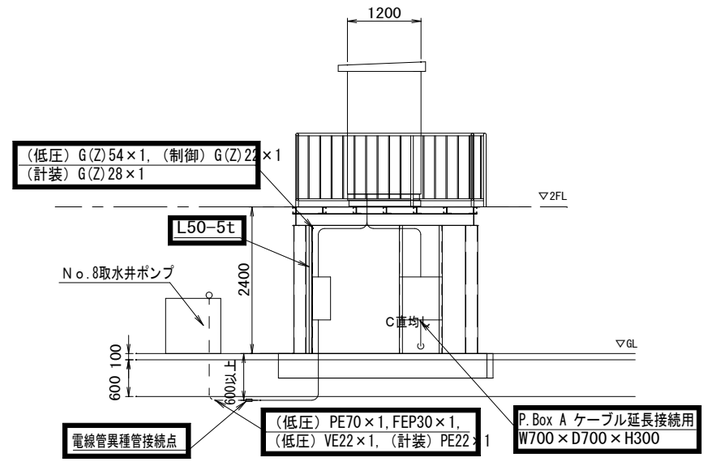
No.8取水井平面図（S＝1／50）



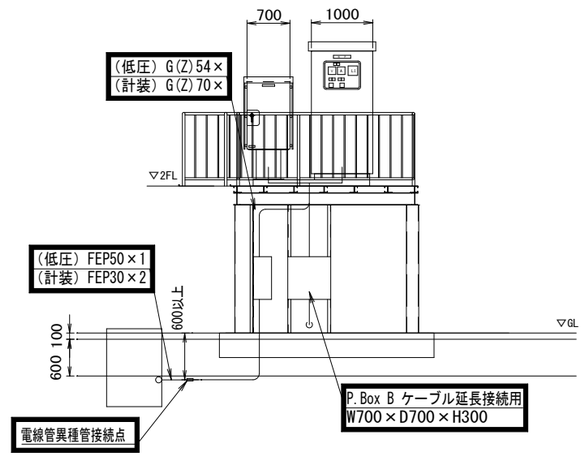
上部平面図（S＝1／50）



下部平面図（S＝1／50）



A-A'立面図（S＝1／50）



B-B'立面図（S＝1／50）

ケーブル一覧（P.BOX A　HH側）

自	機器名称	至	機器名称	ケーブル	電線管（異種電線管前）	電線管（P.BOX一次側）	電線管（P.BOX二次側）	直線接続材	対策	備考
	既設HH		取水No.8ポンプ起動機盤	600V CET38sq	（低圧）FEP50	（低圧）FEP50	（低圧）G（Z）54	82-JA2相当×3	ケーブルは余長を利用	動力用
	取水No.8ポンプ起動機盤		No.8取水流量計	CVVSB 1.25sq-4c	（計装）FEP30	（計装）FEP30	（計装）G（Z）70	J-2E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	流量計
	No.8取水井中央インターフェイス盤		No.6~9, 11取水井テレメータ収納盤（子局）	CEE-S 1.25sq-20c	（計装）FEP30	（計装）FEP30	（計装）G（Z）70	J-4E相当	ケーブルは余長を利用	監視室
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-4c	（計装）FEP30	（計装）FEP30	（計装）G（Z）70	J-2E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	監視室
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-3c	（計装）FEP30	（計装）FEP30	（計装）G（Z）70	J-2E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	監視室
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-2c	（計装）FEP30	（計装）FEP30	（計装）G（Z）70	J-2E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	監視室

ケーブル一覧（P.BOX B　取水ポンプ側）

自	機器名称	至	機器名称	ケーブル	電線管（異種電線管前）	電線管（P.BOX一次側）	電線管（P.BOX二次側）	直線接続材	対策	備考
	取水No.8ポンプ起動機盤		No.8取水井ポンプ	中空ケーブル	（計装）PE22	（計装）FEP30	（計装）G（Z）28		ケーブルは余長を利用	水位計信号線
	〃		〃	CVCT14sq-3C×2	（低圧）PE70	（低圧）FEP80	（低圧）G（Z）54	92-JA1相当×2	ケーブルは新規配線を接続し延長	ポンプ動力ケーブル
	〃		〃	VCT 0.75sq-2c	（低圧）PE70	（低圧）FEP80	（低圧）G（Z）22	J-2E相当	ケーブルは余長を利用	MA電極付、空転防止
	〃		〃	IV14sq	（低圧）VE22	（低圧）FEP30	（制御）G（Z）54	82-JA1相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	盤及び井戸ふたアース

ケーブル一覧（盤間渡り）

自	機器名称	至	機器名称	ケーブル	電線管（異種電線管前）	電線管（P.BOX一次側）	電線管（P.BOX二次側）	直線接続材	対策	備考
	No.8取水井中央インターフェイス盤		*取水No.8ポンプ起動機盤*	CEE 1.25sq-10c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	600V CE 5.5sq-2c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 1.25sq-3c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 3.5sq-3c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 3.5sq-2c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 3.5sq-4c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-2c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃							

浸水被害設備

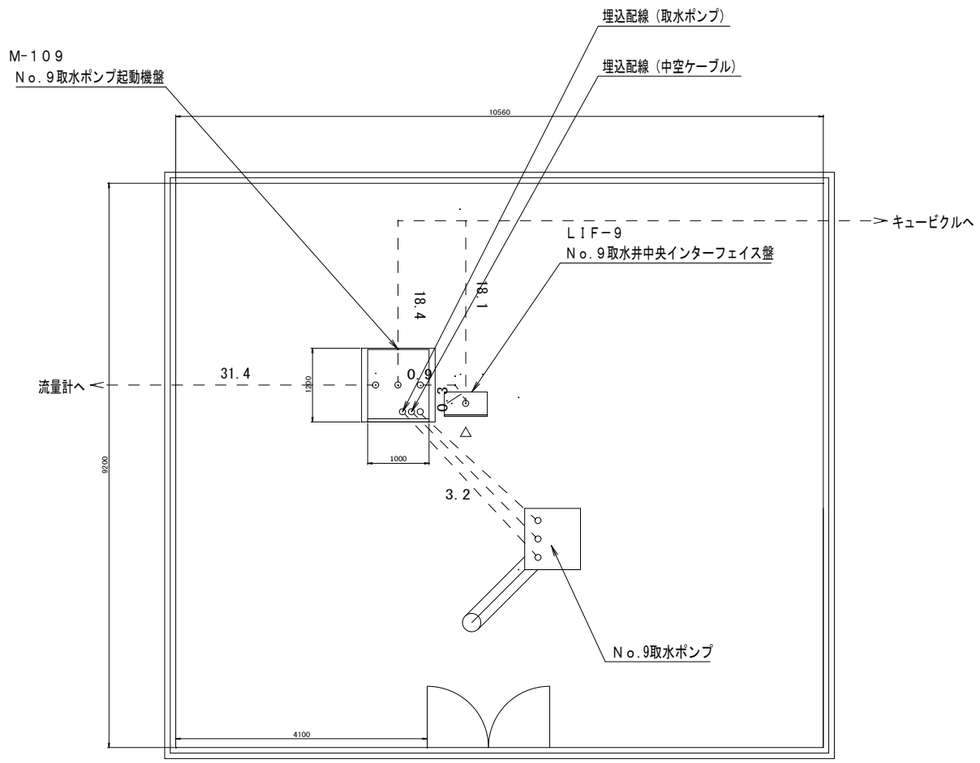
機器名称	盤番号	サイズ	質量	対策方針
No.8取水ポンプ起動機盤	M-108	1000W×1200D×2250H	1100 kg	屋外電気盤の高所化(2.3m)
No.8取水井中央インターフェイス盤	LIF-8	700W×400D×1600H	450 kg	屋外電気盤の高所化(2.3m)

※流量計（水中仕様）

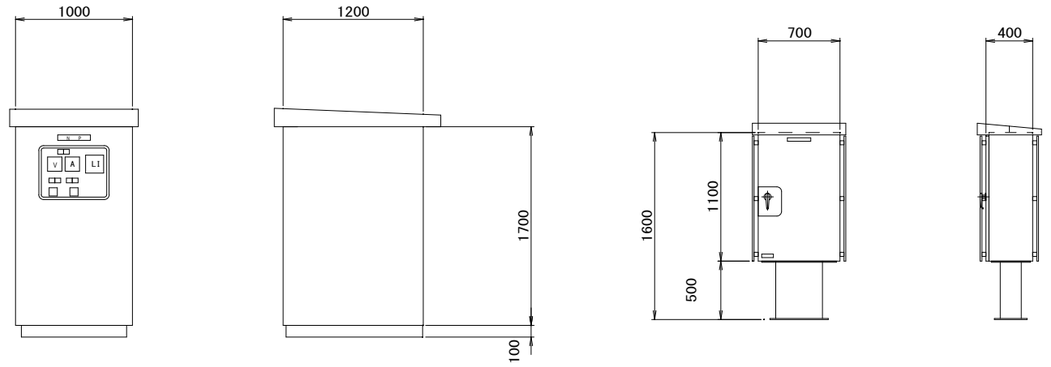
注）

1. ■、── は今回工事を示す。
2. 高所架台への盤移設や基礎かさ上げの際は、停電作業を基本とする。
3. 現場盤類は、想定浸水深以上の位置にかさ上げする。
   なお、配線については、盤のかさ上げが+500mm未満の場合は既設ケーブルを流用とし、
   （余長を利用する）+500mm以上の場合は、新規ケーブルを継足し延長接続をする。
4. 中空ケーブルについては、既設流量を想定している。
   ただし、電線管のルートは、最短ルートで設計する。
5. 各取水井流量計の浸水対策工事は今回範囲に含まない。
6. インターフェイス盤とポンプ制御盤間の配線は、盤のチャンネルベース内をピットとみなして配線を行う。
7. ポンプ起動機盤への電線管立ち上がり部は、可とう管にて行う。
8. 新設する電線管は、内外面ともに溶融亜鉛めっきされた厚鋼電線管Z相当品とする。

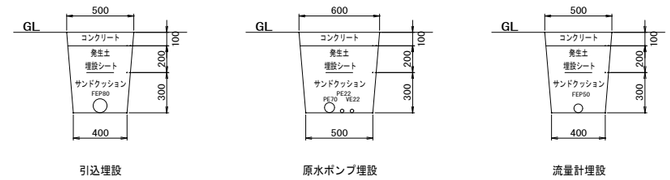
工事名	（そー4）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事				
工事場所	昭和町西条2387（昭和北方水源内）				
図面名	取水井8号対策図（今回）	縮尺	A1 S1=1:50 A3 S1=1:100	分割	E－007
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.		



No.9取水井平面図（S＝1／50）



No9取水ポンプ起動機盤/取水井中央インターフェイス盤外形図（S＝1／25）



No9取水井埋設断面図（S＝1／15）

浸水被害設備

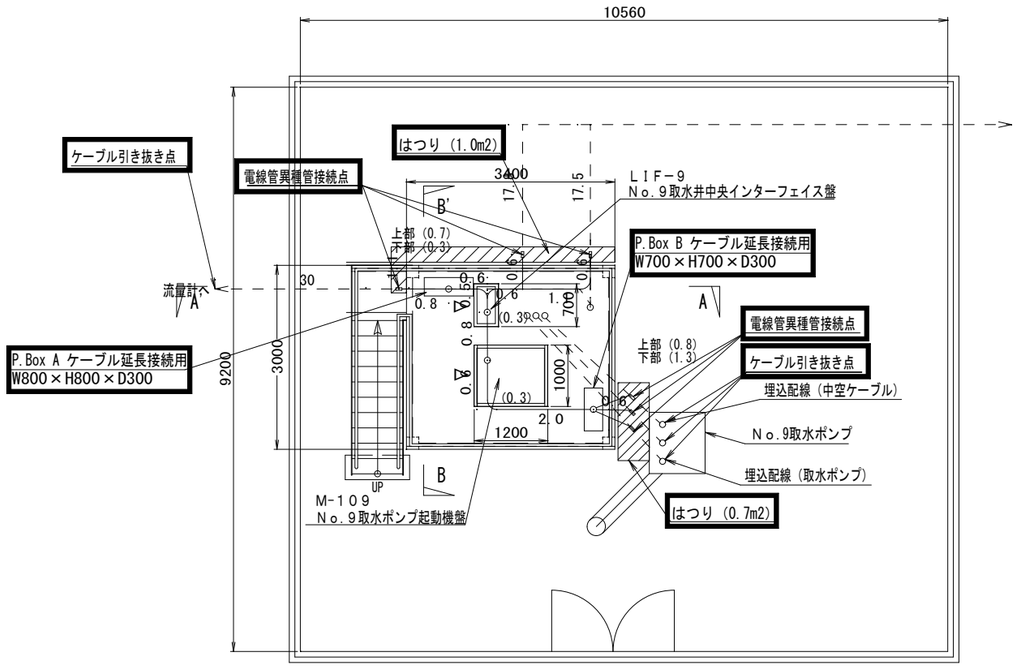
機　器　名　称	盤番号	サ　イ　ズ	質　量	対　策　方　針
No.9取水ポンプ起動機盤	M-109	1000W×1200D×1800H	1100　kg	屋外電気盤の高所化(2.1m)
No.9取水井中央インターフェイス盤	LIF-9	700W×400D×1600H	450　kg	屋外電気盤の高所化(2.1m)

ケーブル一覧

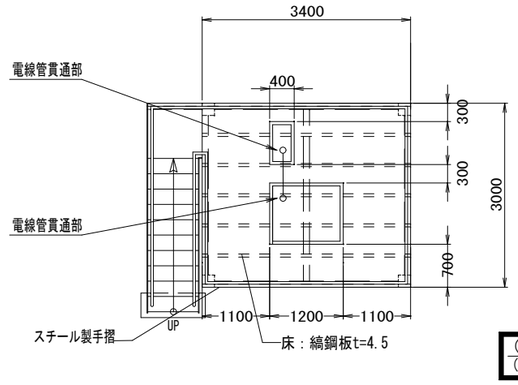
自	機　器　名　称	至	機　器　名　称	ケーブル	電線管	直線接続材	対　策	備　考
	既設HH		No.9取水ポンプ起動機盤	600V CET100sq	(低圧) FEP80			動力用
	No.9取水ポンプ起動機盤		No.9取水ポンプ	中空ケーブル	(計装) PE22			水位計信号線
	〃		〃	CVCT14sq-3C×2	(低圧) PE70			ポンプ動力ケーブル
	〃		〃	VCT 0.75sq-2c	(低圧) PE70			MA電極付
	〃		〃	IV14sq	(低圧) VE22			盤及び井戸ふたアース
	〃		No.9取水流量計	CWSB 1.25sq-4c、IV3.5sq	(計装) FEP50			流量計
	No.9取水井中央インターフェイス盤		No.9取水ポンプ起動機盤	CEE 1.25sq-10c				
	〃		〃	600V CE 5.5sq-2c				
	〃		〃	CEE 1.25sq-3c				
	〃		〃	CEE 3.5sq-3c				
	〃		〃	CEE 3.5sq-2c				
	〃		〃	CEE 3.5sq-4c				
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-3c				
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-2c				
	〃		No.6~9, 11取水井テレメータ収納盤(子局)	CEE-S 1.25sq-20c	(計装) FEP50			
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-4c	(計装) FEP50			
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-2c	(計装) FEP50			

昭和北方水源
取水井９号（9号井）
計画浸水深　2.1(GL+m)
（現況）

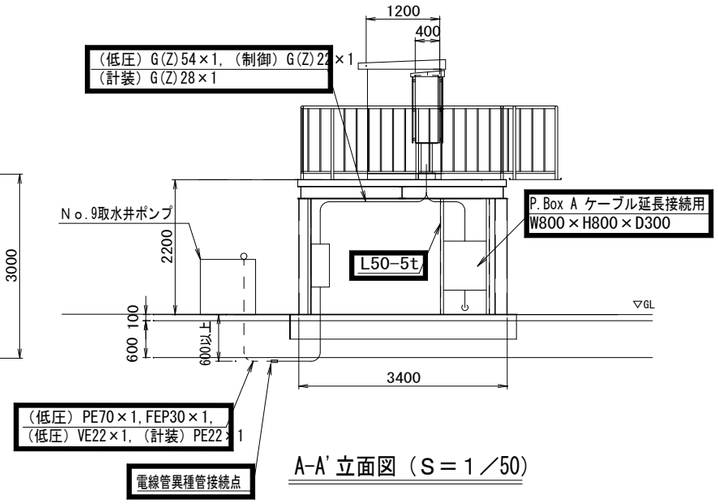
工　事　名	（そ－4）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事						
工 事 場 所	昭和町西条2387（昭和北方水源内）						
図　面　名	取水井9号対策図（現況）	縮　尺	A1 S1=1:15・25・50 A3 S1=1:30・50・100	分　割	E－008		
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.				



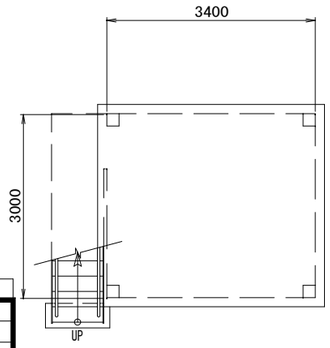
No.9取水井平面図（S＝1／50）



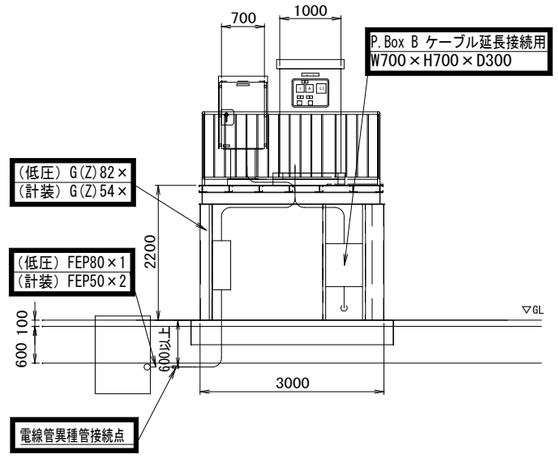
上部平面図（S＝1／50）



A-A'立面図（S＝1／50）



下部平面図（S＝1／50）



B-B'立面図（S＝1／50）

ケーブル一覧（P.BOX A　HH側）

自	機器名称	至	機器名称	ケーブル	電線管（異種電線管前）	電線管（P.BOX一次側）	電線管（P.BOX二次側）	直線接続材	対策	備考
	既設HH		No.9取水ポンプ起動機盤	600V CVT 100sq	（低圧）FEP80	（低圧）FEP80	（低圧）G（Z）82	82-JA2相当×3	ケーブルは余長を利用	動力用
	No.9取水ポンプ起動機盤		No.9取水流量計	CVVSB 1.25sq-4c	（計装）FEP50	（計装）FEP50	（計装）G（Z）36	J-2E相当	ケーブルは余長を利用	流量計
	No.9取水井中央インターフェイス盤		No.6~9，11取水井テレメータ収納盤（子局）	CEE-S 1.25sq-20c	（計装）FEP50	（計装）FEP50	（計装）G（Z）54	J-4E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	監視室
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-4c	（計装）FEP50	（計装）FEP50	（計装）G（Z）54	J-2E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	監視室
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-2c	（計装）FEP50	（計装）FEP50	（計装）G（Z）54	J-2E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	監視室

ケーブル一覧（P.BOX B　取水ポンプ側）

自	機器名称	至	機器名称	ケーブル	電線管（異種電線管前）	電線管（P.BOX一次側）	電線管（P.BOX二次側）	直線接続材	対策	備考
	No.9取水ポンプ起動機盤		No.9取水井ポンプ	中空ケーブル	（計装）PE22	（計装）FEP30	（計装）G（Z）28		ケーブルは余長を利用	水位計信号線
	〃		〃	CVCT14sq-3C×2	（低圧）PE70	（低圧）FEP80	（低圧）G（Z）54	92-JA1相当×2	ケーブルは新規配線を接続し延長	ポンプ動力ケーブル
	〃		〃	VCT 0.75sq-2c	（低圧）PE70	（低圧）FEP80	（低圧）G（Z）22	J-2E相当	ケーブルは余長を利用	MA電極付、空転防止
	〃		〃	IV14sq	（低圧）VE22	（低圧）FEP30	（制御）G（Z）54	82-JA1相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	盤及び井戸ふたアース

ケーブル一覧（盤間渡り）

自	機器名称	至	機器名称	ケーブル	電線管（異種電線管前）	電線管（P.BOX一次側）	電線管（P.BOX二次側）	直線接続材	対策	備考
	No.9取水井中央インターフェイス盤		No.6~9，11取水井テレメータ収納盤（子局）	CEE 1.25sq-10c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	600V CE 5.5sq-2c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 1.25sq-3c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 3.5sq-3c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 3.5sq-2c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 3.5sq-4c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-3c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-2c					ケーブルは余長を利用	

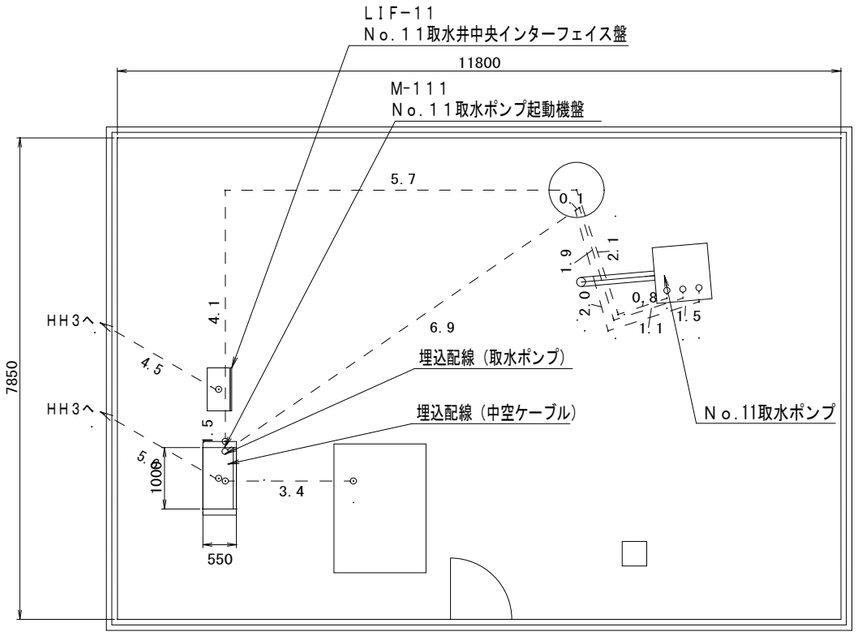
浸水被害設備

機器名称	盤番号	サイズ	質量	対策方針
No.9取水ポンプ起動機盤	M-109	1000W×1200D×1800H	1100 kg	屋外電気盤の高所化(2.1m)
No.9取水井中央インターフェイス盤	LIF-9	700W×400D×1600H	450 kg	屋外電気盤の高所化(2.1m)

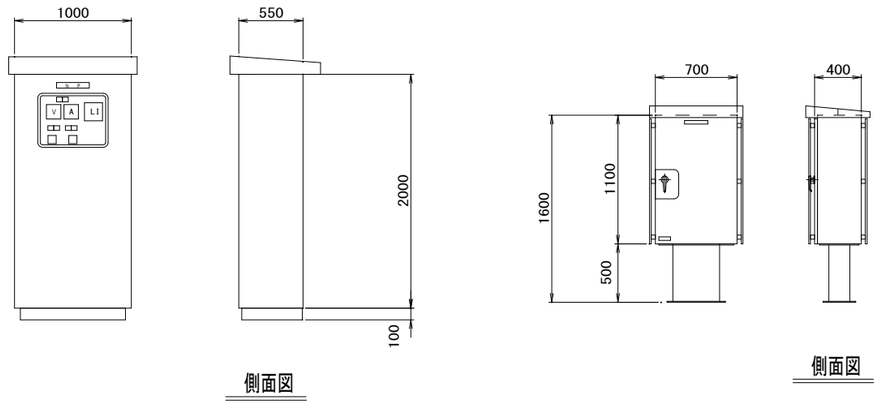
注）

1. ▭、── は今回工事を示す。
2. 高所架台への盤移設や基礎かさ上げの際は、停電作業を基本とする。
3. 現場盤類は、想定浸水深以上の位置にかさ上げする。
   なお、配線については、盤のかさ上げが+500mm未満の場合は既設ケーブルを流用とし、
   （余長を利用する）+500mm以上の場合は、新規ケーブルを継足し延長接続をする。
4. 中空ケーブルについては、既設流用を想定している。
   ただし、電線管のルートは、最短ルートで設計する。
5. 各取水井流量計の浸水対策工事は今回範囲に含まない。
6. インターフェイス盤とポンプ制御盤間の配線は、盤のチャンネルベース内をピットとみなして配線を行う。
7. ポンプ起動機盤への電線管立ち上がり部は、可とう管にて行う。
8. 新設する電線管は、内外面ともに溶融亜鉛めっきされた厚鋼電線管Z相当品とする。

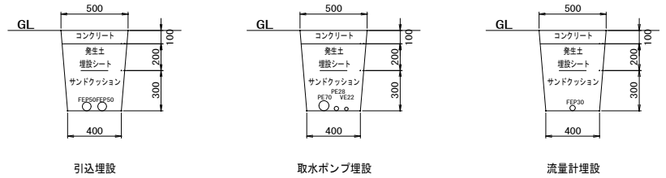
工事名	（そ－4）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事				
工事場所	昭和町西条2387（昭和北方水源内）				
図面名	取水井9号対策図（今回）	縮尺	A1 S1=1:50 A3 S1=1:100	分割	E－009
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.		



No.11取水井平面図（S＝1／50）



No11取水ポンプ起動機盤/取水井中央インターフェイス盤外形図（S＝1／25）



No11取水井埋設断面図（S＝1／15）

浸水被害設備

機　器　名　称	盤番号	サ　イ　ズ	質　量	対　策　方　針
No.11取水ポンプ起動機盤	M-111	1000W×550D×2100H	1100　kg	屋外電気盤の高所化(1.8m)
No.11取水井中央インターフェイス盤	LIF-11	700W×400D×1600H	450　kg	屋外電気盤の高所化(1.8m)

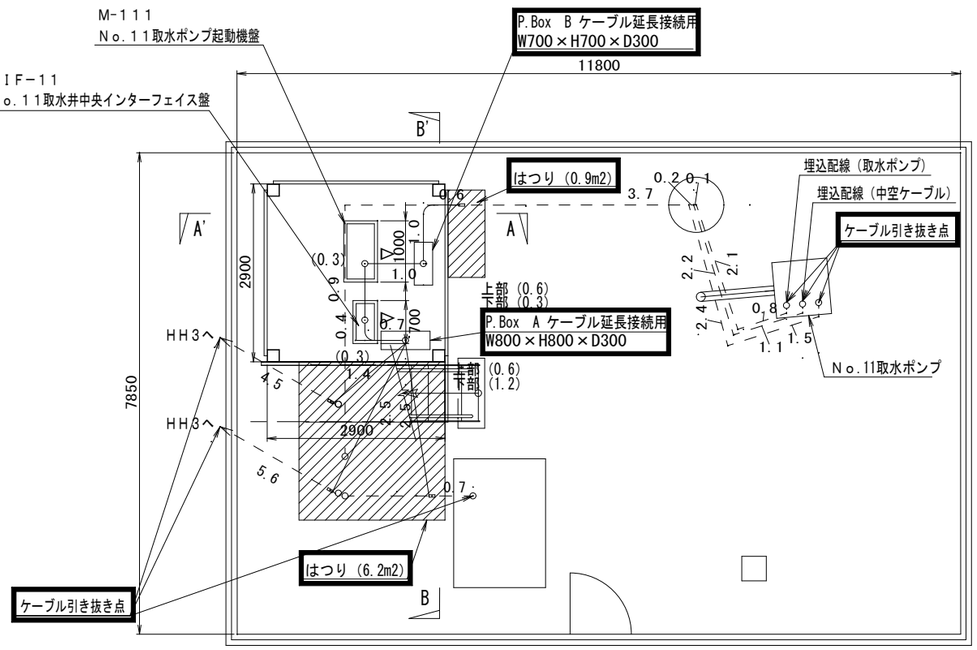
※流量計（水中仕様）

ケーブル一覧

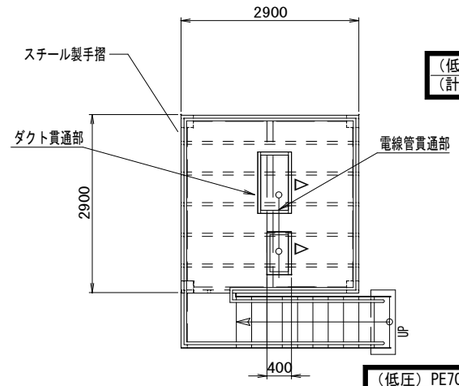
自	機　器　名　称	至	機　器　名　称	ケーブル	電線管	直線接続材	対　策	備　考
	既設HH		No.11取水ポンプ起動機盤	600V CET38sq	(低圧) FEP50			動力用
	No.11取水ポンプ起動機盤		No.11取水ポンプ	中空ケーブル	(計装) PE22			水位計信号線
	〃		〃	2PNCT14sq-3c×2	(低圧) PE70			ポンプ動力ケーブル
	〃		〃	VCT 0.75sq-2c	(低圧) PE70			MA電極付、空転防止
	〃		〃	IE22sq	(低圧) VE22			盤及び井戸ふたアース
	〃		No.11取水流量計	CVVSB 1.25sq-4c	(計装) PE22			流量計
	No.11取水井中央インターフェイス盤		No.11取水ポンプ起動機盤	CEE 1.25sq-10c				
	〃		〃	600V CE 5.5sq-2c				
	〃		〃	CEE 1.25sq-3c				
	〃		〃	CEE 3.5sq-3c				
	〃		〃	CEE 3.5sq-2c				
	〃		〃	CEE 3.5sq-4c				
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-6c				
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-2c				
	〃		No.6~9, 11取水井テレメータ収納盤(子局)	CEE-S 1.25sq-20c	(計装) FEP50			
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-4c	(計装) FEP50			
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-2c	(計装) FEP50			

昭和北方水源
取水井１１号（11号井）
計画浸水深　1.8(GL+m)
（現況）

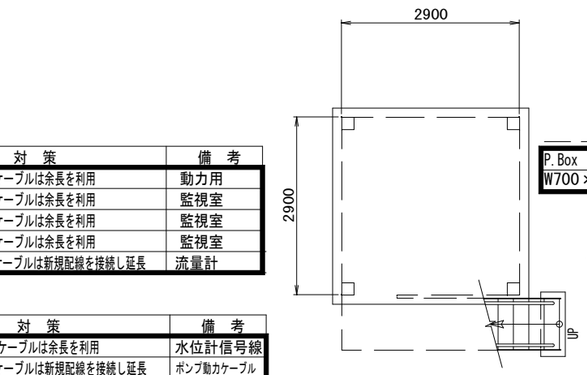
工　事　名	（そ－4）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事						
工 事 場 所	昭和町西条2387（昭和北方水源内）						
図　面　名	取水井11号対策図（現況）	縮　尺	A1 S1=1:15・25・50 A3 S1=1:30・50・100	分　割	E－010		
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.				



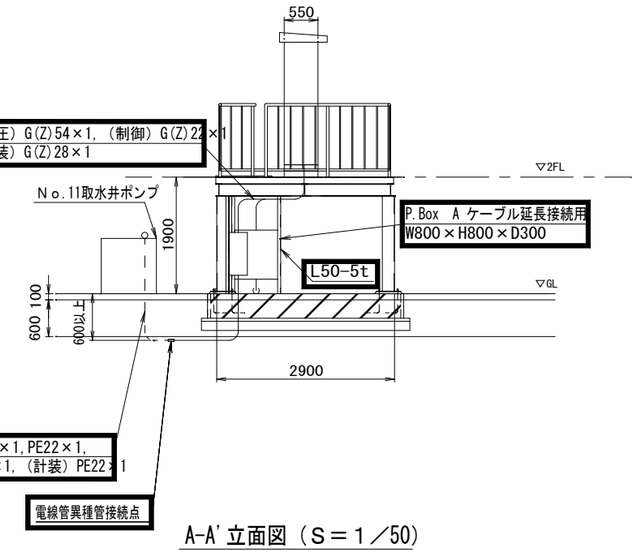
No.11取水井平面図（S＝1／50）



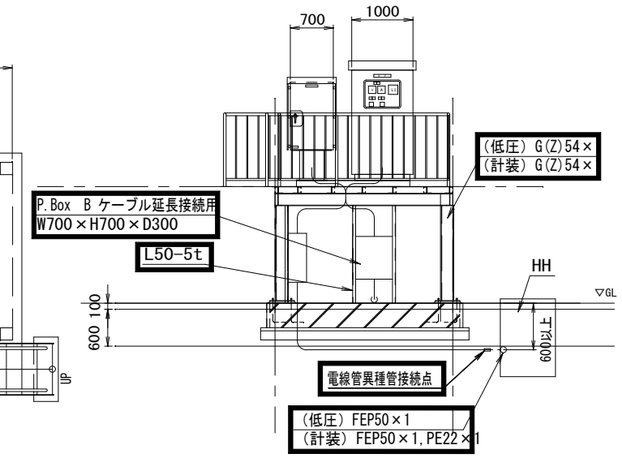
上部平面図（S＝1／50）



下部平面図（S＝1／50）



A-A'立面図（S＝1／50）



B-B'立面図（S＝1／50）

ケーブル一覧（P.BOX A HH側）

自	機器名称	至	機器名称	ケーブル	電線管（異種電線管前）	電線管（P.BOX一次側）	電線管（P.BOX二次側）	直線接続材	対策	備考
	既設HH		No.11取水ポンプ起動機盤	600V CET38sq	(低圧) FEP50	(低圧) FEP50	(低圧) G (Z) 54	82-JA2相当×3	ケーブルは余長を利用	動力用
	No.11取水井中央インターフェイス盤		No.6~9, 11取水井テレメータ収納盤(子局)	CEE-S 1.25sq-20c	(計装) FEP50	(計装) FEP50	(計装) G (Z) 54	J-4E相当	ケーブルは余長を利用	監視室
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-4c	(計装) FEP50	(計装) FEP50	(計装) G (Z) 54	J-2E相当	ケーブルは余長を利用	監視室
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-6c	(計装) FEP50	(計装) FEP50	(計装) G (Z) 54	J-2E相当	ケーブルは余長を利用	監視室
	〃		No.11取水流量計	CVVSB 1.25sq-4c	(計装) PE54	(計装) FEP80	(計装) G (Z) 54	J-2E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	流量計

ケーブル一覧（P.BOX B 取水ポンプ側）

自	4機井器位路 称	至	機器名称	ケーブル	電線管（異種電線管前）	電線管（P.BOX一次側）	電線管（P.BOX二次側）	直線接続材	対策	備考
	No.11取水ポンプ起動機盤		No.11取水ポンプ	中空ケーブル	(計装) PE22	(計装) FEP30	(計装) G(Z)28		ケーブルは余長を利用	水位計信号線
	〃		〃	2PNCT14sq-3c×2	(低圧) PE70	(低圧) FEP80	(低圧) G(Z)54	92-JA1相当×2	ケーブルは新規配線を接続し延長	ポンプ動力ケーブル
	〃		〃	VCT 0.75sq-2c	(低圧) PE54	(低圧) FEP80	(低圧) G (Z) 54	J-2E相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	MA電極付、空転防止
	〃		〃	IE22sq	(低圧) PE54	(低圧) FEP80	(制御) G (Z) 22	82-JA1相当	ケーブルは新規配線を接続し延長	盤及び井戸ふたアース

ケーブル一覧（盤間渡り）

自	機器名称	至	機器名称	ケーブル	電線管（異種電線管前）	電線管（P.BOX一次側）	電線管（P.BOX二次側）	直線接続材	対策	備考
	No.4取水井中央インターフェイス盤		取水ポンプNo.4制御盤	600V CE 5.5sq-2c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	600V CE 3.5sq-2c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 1.25sq-10c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 1.25sq-3c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 3.5sq-3c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 3.5sq-2c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE 3.5sq-4c					ケーブルは余長を利用	
	〃		〃	CEE-S 1.25sq-6c					ケーブルは余長を利用	

浸水被害設備

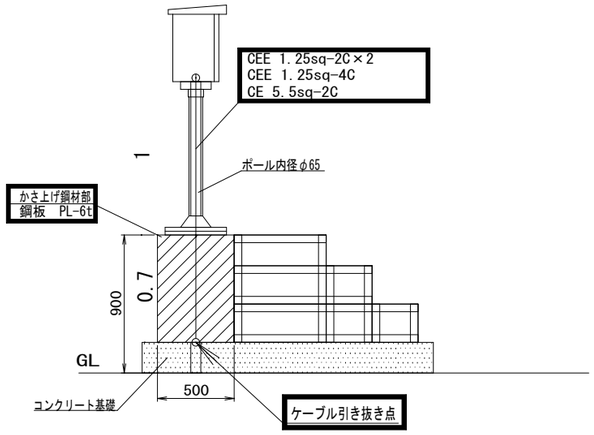
機器名称	盤番号	サイズ	質量	対策方針
No.11取水ポンプ起動機盤	M-111	1000W×550D×2100H	1100 kg	屋外電気盤の高所化(1.8m)
No.11取水井中央インターフェイス盤	LIF-11	700W×400D×1600H	450 kg	屋外電気盤の高所化(1.8m)

※流量計（水中仕様）

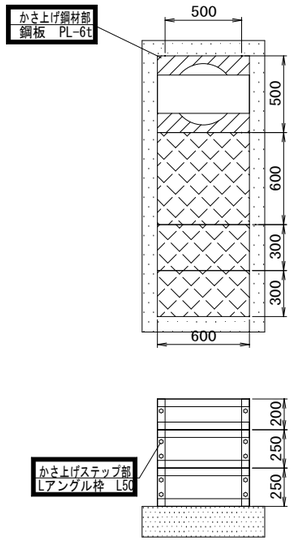
注）

1. ■、── は今回工事を示す。
2. 高所架台への盤移設や基礎かさ上げの際は、停電作業を基本とする。
3. 現場盤類は、想定浸水深以上の位置にかさ上げする。
   なお、配線については、盤のかさ上げが+500mm未満の場合は既設ケーブルを流用とし、
   （余長を利用する）+500mm以上の場合は、新規ケーブルを継足し延長接続をする。
4. 中空ケーブルについては、既設流用とする。
   ただし、電線管のルートは、最短ルートで設計する。
5. 各取水井流量計の浸水対策工事は今回範囲に含まない。
6. インターフェイス盤とポンプ制御盤間の配線は、盤のチャンネルベース内をピットとみなして配線を行う。
7. ポンプ起動機盤への電線管立ち上がり部は、可とう管にて行う。
8. 新設する電線管は、内外面ともに溶融亜鉛めっきされた厚鋼電線管Z相当品とする。

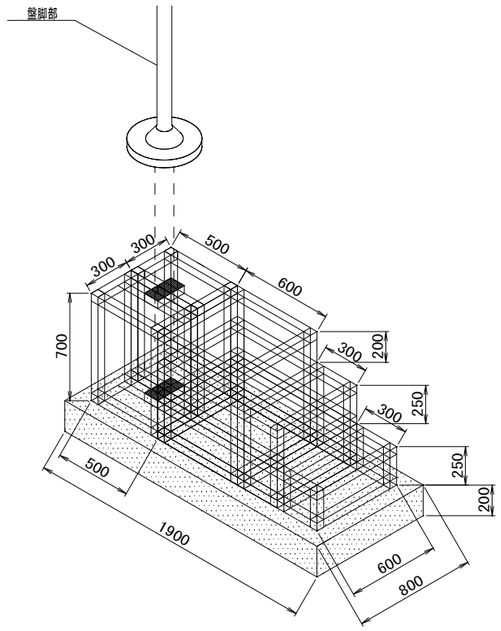
工事名	（そ－4）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事				
工事場所	昭和町西条2387（昭和北方水源内）				
図面名	取水井11号対策図（今回）	縮尺	A1 S1=1:50 A3 S1=1:100	分割	E－011
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.		



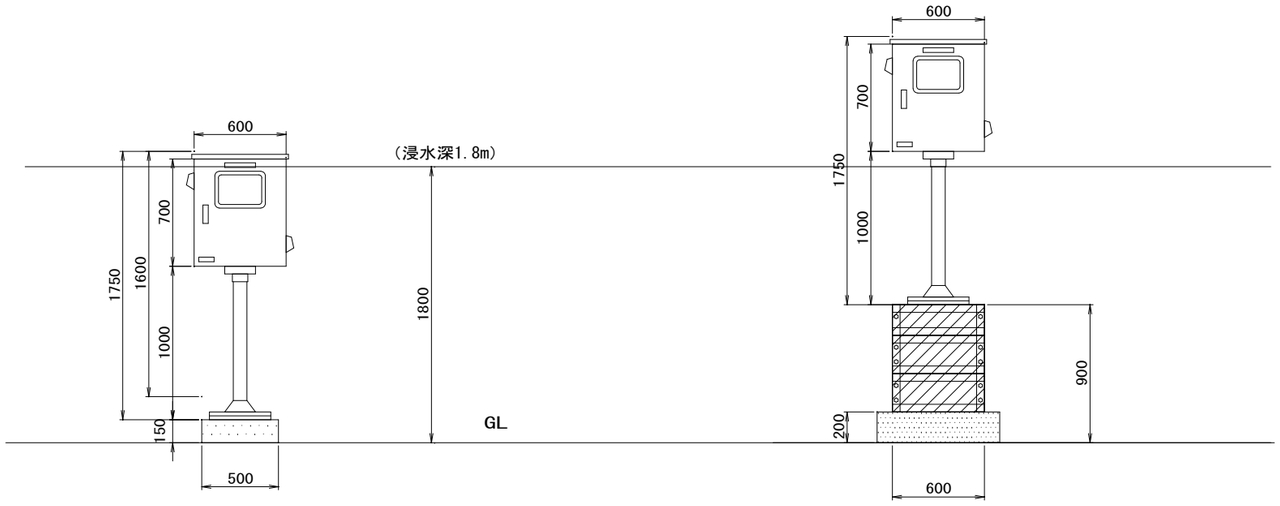
（基礎側面ステップ図）



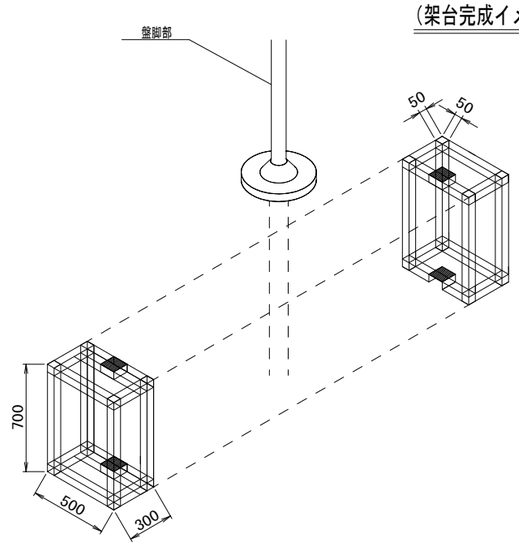
（基礎前ステップ図）



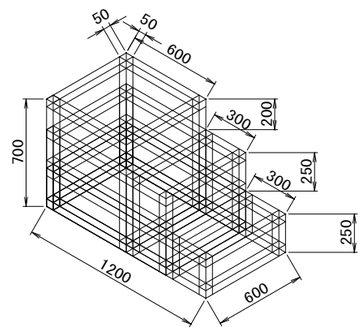
（架台完成イメージアイソメ図）



（対策前）　（対策後）



（架台盤部アイソメ図）



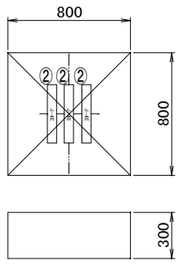
（架台ステップ部アイソメ図）

昭和北方水源
北方PCタンク水位計変換器盤立面図（S＝1/20）
（浸水深1.8m）

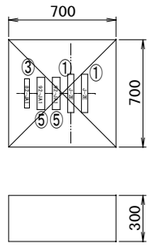
注）

1. ▭ は今回工事を示す。
2. 高所架台への盤移設や基礎かさ上げの際は、すべて停電作業とする。
3. 現場盤類は、想定浸水深以上の位置にかさ上げする。
   なお、配線については、盤のかさ上げが+500mm未満の場合は既設ケーブルを流用とし、
   （余長を利用する）+500mm以上の場合は、新規ケーブルを継足し延長接続をする。

工事名	（そ－4）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事				
工事場所	昭和町西条2387（昭和北方水源内）				
図面名	北方PCタンク水位計変換器盤図	縮尺	A1 S=1:20・200 A3 S=1:40・400	分割	E－012
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.		

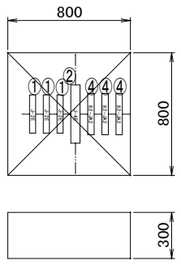


P.BOX A

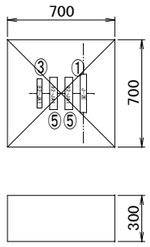


P.BOX B

6号井延長接続用P.BOX平面、断面図（S＝1/20）

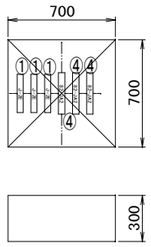


P.BOX A

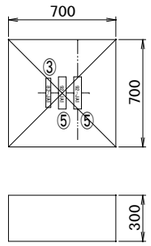


P.BOX B

7号井延長接続用P.BOX平面、断面図（S＝1/20）

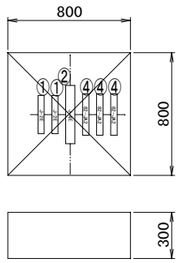


P.BOX A

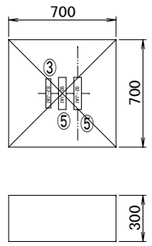


P.BOX B

8号井延長接続用P.BOX平面、断面図（S＝1/20）

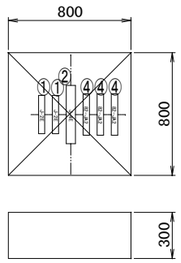


P.BOX A

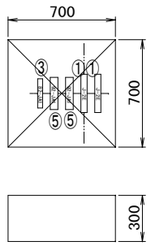


P.BOX B

9号井延長接続用P.BOX平面、断面図（S＝1/20）

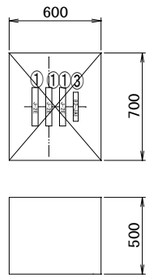


P.BOX A



P.BOX B

11号井延長接続用P.BOX平面、断面図（S＝1/20）



北方PCタンク水位計変換器盤延長接続用架台平面、断面図（S＝1/20）

注）

1. P.BOX内の施工スペースとして、接続材間は、50mm以上を保ち、接続材長手方向とP.BOX内壁間は、200mm以上を保つ。
   （P.BOXは、標準品を選定しているため、大きさは長手方向の寸法に依存する。）
2. 直線接続材の施工時間は、1回線につき、約1時間程度が想定される。

接続材一覧表

番号	接続材名称	接続材図
①	J-2E	J-2E
②	J-4E	J-4E
③	82-JA1	82-JA1
④	82-JA2	82-JA2
⑤	92-JA1	92-JA1
⑥	92-JA2	92-JA2
⑦	92-JA4.5	92-JA4.5

工事名	（そー4）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事			
工事場所	昭和町西条2387（昭和北方水源内）			
図面名	延長接続用P.BOX選定根拠図	縮尺	A1 S1=1:20 A3 S1=1:40	分割	E－013
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.	

建築工事特記仕様書

A. 工事概要

1．工事名称　（そー４）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事

2．工事場所　昭和町西条2387（昭和北方水源内）

3．地　　域

イ.用途地域・（一種、二種）低層住専　　・（一種、二種）中高層住専
・（一種、二種、準）住居・商業・近隣商業・準工業・工業・工専・指定なし

ロ.防火地域・防火・準防火・指定なし

ハ.その他　市街化調整区域

ハ．その他

4．敷地面積　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㎡

5．構造・規模

名　　称	構　造・規　模	工事種別	建築面積（㎡）	延べ面積（㎡）	適用
◯　機器架台	鉄骨造	新　　築			

6．工事範囲

設計図書（図面・特記仕様書・標準仕様書・設計書）及び質問回答書に示す範囲とする。

また本工事施工にあたっては下記別途工事施工者と常に連絡を密にし、円滑な工事施工を図ること。

（■印のあるもの）

□電気工事　□衛生工事　□空調工事　□合併処理施設工事　□昇降機工事

□解体工事　□外構工事　□植栽工事　　□耐震性貯留槽設置工事　□屋外消火栓設備

B. 仕　　様

1．図面及び仕様書等に記載された事項の他は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

公共建築工事標準仕様書（建築工事編）最新年度版による。（以下「標準仕様書」という。）

なお、標準仕様書に記載されて」いない事項は国土交通省官房官庁営繕部監修公共建築改修

標準仕様書（建築工事編）最新年度版による。　　（以下「改修標準仕様書」という。）

2．設計図書の内容に明記がない場合又は相違ある場合は原則として本市監督職員の指示、

本市監督職員との協議による他、次の優先順位による。

1）質問回答書

2）特記仕様書

3）図面・設計書

4）標準仕様書　改修標準仕様書

前記いずれかに記載のあるもの又は技術上必要な材料及び工事は。

3．特記仕様は○印ついたものを適用する。

○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。

○印と※印の付いた場合は共に適用する。

特記事項に記載の（　．　．　）及び[　．　．　]内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」

及び「標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4．工事の目的物及び工事用材料等について、火災保険・組立保険・運送保険・請負業者賠償責任保険

及び法定外補償保険等に付すること。

5．塗料・接着剤等は、製品安全データシート（SDS）を提出し、監督職員の承諾を得ること。

6．鉄骨やコンクリート等、使用材料の運搬に関しては関係法令を遵守し、歩行者や通行車両等に

十分注意し、事故発生がないように注意すること。

7．施工中及び完成後引渡しまでの間、化学物質低減のために充分に換気を行なうこと。

8．経年検査について（原則請負工事費5000万円以上）

⊙工事完成検査日より1年以内に行う　・行わない

C. 環境への配慮

1）省エネルギーの推進、公害対策、さらには化学物質の適正管理に配慮するなど、地球環境負荷の

低減に努める。

2）建設副産物の削減と適正処理をはじめ、リサイクルの推進、省資源等に配慮し、地球環境の持続可能な

資源循環型社会の構築に貢献する。

3）環境関連法令及びその他の要求事項を遵守し、汚染の防止を図る。

4）建設リサイクル法関連

2．本工事が、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事またはその施工に特定建設資材を使用する

新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化に関する法律」以下「建設リサイク

ル法」という。）施行令又は山梨県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事（以下「対

象建設工事」という。）である場合は、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資

源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督職員と

協議するものとする。

3. 本工事の施工にあたっては、「建築工事における建設副産物管理マニュアル」を参考に、

適切な処理に努めること。

D. 特記事項

章	項目	特記事項
① 一般共通事項	① 適用範囲等	⊙本建築工事一式
	② 提出書類	

	提出書類	部数	摘要	
1	工　程　表	1	契約締結後14日以内	（様式第１２号）
2	主任技術者等通知書	1	着手日までに提出	（様式第１４号）
3	着　手　届	1	着手日までに提出	（様式第１１号）
4	請負工事一部下請届	1	下請工事契約締結後速やかに提出	（様式第１０号）
5	工事工程月報	1	毎月１０日までに提出	（様式第３号）
6	工事写真	1	電子納品対象工事を除く	（様式第１　３号）
7	再生資源利用（促進）計画書・実施書	1	計画書１部、変更時、実施時に提出	
8	防水保証書		シーリング工事及び部分補修を除く	
9	材料品質証明書 試験成績書等]	1	コンクリート、鉄筋、鉄骨等	
10	完成届出書	1		（様式第１９号）
11	工事目的物引渡書	1		
12	施工体制台帳	1	施工体制台帳の写し（一次下請負業者との契約金額が4500万円以上の場合）	

③ 工事実績情報の登録

請負者は、工事請負代金額５００万円以上の工事について、工事実績情報サービス（CORINS)に基づき、受注・変更（請負代金、工期、技術者（現場代理人、主任技術者、監理技術者））・完成時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し監督職員の確認を受けた上、　受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更のあった日から10日以内に、　完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録しなければならない。

④ 工事管理

本工事は最少限下記の工事担当者を専従させ、原則として他工事との兼務は認めないものとする。担当者はいずれも経歴書及び資格者証の写しを提出し本市監督職員の承諾を得ること。

⊙ 現場代理人　名（建設業法による）

・ 主任技術者　名（建設業法による）

⊙ 監理技術者　名（建設業法による）

・ 係　　員　名　・一級建築士　名　・二級建築士　名

・経験３年以上の技術者

5. 発生材の処理

引き渡しを要するもの　・有（　　）　・無　　（１．３．８）

特別管理産業廃棄物　・有　処理方法（　適正な処分を行う）　・無

現場において再利用を図るもの　・有（　　）　・無

現場において再資源化を図るもの　・有（　　）　・無

⑥ 技　能　士

・適用する　⊙適用しない　　（１．５．２）

技能検定の職種及び作業の種別（塗装（建築塗装作業）、型枠施工、鉄筋施工、鉄筋組立作業）、コンクリート圧送工）

8．化学物質の濃度測定

室内濃度を着手前及び完成検査前に測定し、　測定結果をとりまとめ、提出すること。

（１．５．９）

対象化学物質	室内濃度指針値（25℃の換算）	測定方法	試験方法
ホルムアルデヒド	０．０８ｐｐｍ	ジニトロフェニル	・高速液体クロ
トルエン	０．７ 7ｐｐｍ	ヒドラジン誘導体	マトグラフ法
キシレン	０．２０ｐｐｍ	・固相吸着／溶媒抽出法	・ガスクロマト
エチルベンゼン	０．８８ｐｐｍ	・固相吸着／加熱脱着法	グラフ質量分析法
スチレン	０．０５ｐｐｍ	・容器採取法　のいずれか	のいずれか

測定箇所数			
室内（居室）	（　　）ヶ所	測定箇所は監督職員の指示による。
外部	（　　）ヶ所	
測定時間	吸引方式では３０分間で２回以上、拡散方式では８時間以上とする。	

② 仮設工事

① 足場その他

足場を設ける場合、標準仕様書2.2.4（ｂ）による他、設置については『手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における（2）手摺据置方式または（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。

・外部足場の保護ｼｰﾄによる養生

・養生ネット　・養生ｼｰﾄ（・　類　　・　類　ネット養生シート）

② 工事用水

構内既存の施設　・利用できない⊙利用できる（※有償・無償）

③ 工事用電力

構内既存の施設　⊙利用できない・利用できる（※有償・無償）

③ 土工事

① 埋戻し・盛土　　(3.2.3)

種別・A種　※B種・C種（土質：　、受渡条件：　）・D種

・建設汚泥から再生した処理土
場外指定場所に搬出し、搬出後、監督員へ搬入先を証明する資料を提出する。

② 建設発生土の処理

・場外指定場所に搬出し、搬出後、監督員へ搬入先を証明する資料を提出する。
搬出場所（　　）、仮置場（　　）
処分費（　　）、仮置場（　　）
・近隣の受入先を調査の上、搬出距離、受入条件が確認資料を監督員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督員へ搬出の受入を証明する資料を提出する。なお、次の運搬に相当する経費を見込んでいる。
搬出距離（　　）、　DID　区間（　　）
仮置場（　　）
・場内指定距離に敷き均し

③ 設計地耐力

（　２０　）KN/㎡　構造計算書、図面による。

4 山留めの存置

存置位置（※図示　・　　）

④ 地業工事

1 杭の載荷試験　　(4.2.3)

杭の載荷試験　・行う　・行わない
試験種別　※鉛直　・水平
試験方法　※段階載荷方式　・連続載荷方式
試験杭本数(本)
試験杭位置　※図示
最大荷重(t)
設置後の放置期間

2　地盤の載荷試験　　(4.2.4)

平板載荷試験　・行う　・行わない
試験方法 ※地盤工学会基準JGS1521-2003(地盤の平板載荷試験方法)
試験方法 ※段階式載荷　・段階式繰返し載荷方式
試験位置　※図示
最大荷重(t)　・ 130KN/㎡　構造計算書、図面による。

３支持地盤　　(4.3.4～5)　(4.5.4～5)

・杭基礎
支持地盤の種類及び位置（基礎ぐいの先端の位置含む）　※ 図 示
・直接基礎
支持地盤の種類及び位置（基礎底部の位置含む）　※ 図 示
試験掘り（根切底の状態の確認等）・行う・行わない　(3.2.1)
位置等　・図示　・原位置掘削時の根切りを試験掘りとする。

４既製コンクリート杭地業

種類　(4.3.2)

・遠心力高強度ﾌﾟﾚｽﾄﾚｽｺﾝｸﾘｰﾄ杭（PHC杭）
・外殻鋼管付きｺﾝｸﾘｰﾄ杭（SC杭）　（鋼管材料　・SKK400　・SKK490）
・ﾌﾟﾚｽﾄﾚｽﾄ鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ杭（PRC杭）
寸法、継手、性能等（種別：種類、性能及び曲げ強度区分）

	杭径（mm）	厚さ（mm）	杭長(m)及び種別	継手数	ｾｯﾄ数	ｺﾝｸﾘｰﾄ強度（N/mm）²	長期設計支持持力(kN/本)	備考
試験杭			上杭 中杭 下杭					
本杭			上杭 中杭 下杭					

工　事　名	（そー４）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事				
工 事 場 所	昭和町西条2387（昭和北方水源内）				
図　面　名	開閉台 特記仕様書(1)	縮 尺	―――	分 割	A－001
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.		

5 鋼杭地業

杭先端部形状　・開放形　・半開放形　・閉そく形　・　(4.3.2)
施工方法　(4.3.3～4.3.5)
・ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸ工法
ｱｰｽｵｰｶﾞｰの支持地盤への掘削深さ　・1.5m程度　・　(4.3.4)
杭の支持地盤への根入れ深さ　・1.0m程度　・
杭の精度　水平方向の位置ずれ　・杭径の1/4かつ100mm以下
杭の傾斜　・1/100以内　・
試験杭　試験杭の位置　・図示による(　　)　・
試験杭の施工　※本杭の施工に先立ち行う　・　(4.2.2)(4.3.4)(4.3.5)
特定埋込杭工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式の内α，β，γが下記の値を採用できる工法
α=(　　)，β=(　　)，γ=(　　)
工法　・ﾌﾞﾚﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ拡大根固め工法　・中掘り拡大根固め工法　・
杭周固定液　・使用する　・使用しない
杭の精度　・水平方向の位置ずれ　(4.3.5)
・杭径の1/4かつ100mm以下　・
・杭の傾斜
・1/100以内　・
試験杭　試験杭の位置　・図示による(　　)　・　(4.2.2)(4.3.5)
試験杭の施工　※本杭の施工に先立ち行う　・

杭継手工法　・ｱｰｸ溶接継手　(4.3.2)(4.3.6)(7.2.5)
・無溶接継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工法　※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法
検査　※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目
施工　※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による

杭頭の処理　・処理する　・処理しない　(4.3.7)
処理方法(切断に伴う補強方法含む)
・図示による(　　)　・
杭頭の中詰め材料　・基礎のｺﾝｸﾘｰﾄと同調合のもの　・

種類の記号　・SKK400　・SKK490　・　(4.4.2)(表4.4.1)
寸法、継手等　(4.4.2)

	杭径(mm)	杭長(m)及び種別	継手数	ｾｯﾄ数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭		上杭 中杭 下杭				
本杭		上杭 中杭 下杭				

杭先端部形状　・開放形　・半開放形　・閉そく形　・　(4.4.2)
先端部の補強　・標準仕様書 図4.4.1、表4.4.2による　・
先端部の補強(補強ﾊﾞﾝﾄﾞ等)及びその他付属品の材質
・SS400と同等又はそれ以上　・
施工方法　(4.4.3)
・特定埋込杭工法　(4.3.5)(4.4.4)
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα=250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式の内α，β，γが下記の値を採用できる工法
α=(　)，β=(　)，γ=(　)
工法　・中掘り拡大根固め工法　・
試験ﾛｯﾄ：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。
なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする
試験片を採取した箇所の処置：ｶﾞｽ圧接

⑥砂利地業
材料　・再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ　⊙切込砂利及び切込砕石　(4.6.2)
厚さ　※60mm　・100mm

⑦捨コンクリート地業
捨ｺﾝｸﾘｰﾄの厚さ　※50mm　・　(4.6.4)(6.14.1)
施工範囲　(図示)

設計基準強度　※18N/mm2　・
ｽﾗﾝﾌﾟ　※15cm又は18cm　・

8 床下防湿層
材料　・ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ厚さ0.15mm以上　・　(4.6.2)
施工範囲　・建物内の土間ｽﾗﾌﾞ及び土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下(ﾋﾟｯﾄ下を除く)　(4.6.5)

9 地盤改良工法
種類及び施工方法等　・図示による(　　)　・

⑤ 鉄筋工事

①鉄筋
鉄筋の種類　(5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号		備考
⊙ SD295A	⊙ D16以下	
・ SD345	・ D19・D22・D25・D29	
・ SD390	・ D29以上	
・ KSS785同等品		

2 溶接金網
形状等　(5.2.2)

種類		網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	適用箇所
・溶接金網		・100×100・150×150　6φ	⊙防水押え　・デッキ床
・鉄筋格子			

③継手及び定着
継手方法等　(5.3.4)(5.5.2)

部位	継手方法	呼び径(mm)
柱、梁の主筋	・ｶﾞｽ圧接　・機械式継手 溶接継手	
耐力壁の鉄筋	・重ね継手　・	
その他の鉄筋(	⊙重ね継手　・	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ　(5.3.4)
・40d(軽量ｺﾝｸﾘｰﾄの場合は50d)と標準仕様書表5.3.2の大きい方の値
・図示による(　　)

柱に取り付ける梁の引張り鉄筋定着長さ
・標準仕様書表5.3.4
・図示による(　　)　(5.3.4)　(5.3.7)

各部配筋
【直接基礎の配筋　・　標準仕様書各部配筋参考図1.1による　図示】
【基礎接合部の補強配筋　・　標準仕様書各部配筋参考図1.2による　図示】
【基礎梁主筋の継手、定着及び余長　標準仕様書各部配筋参考図1.3による　図示】
【基礎梁のあばら筋　・　標準仕様書各部配筋参考図1.4による　図示】
【柱主筋の継手、定着及び余長　・　標準仕様書各部配筋参考図2.1による　図示】
【帯筋組立の形及び割付け　・　標準仕様書各部配筋参考図2.2による　図示】
【柱の打増し補強　・　標準仕様書各部配筋参考図2.3による　図示】
【大梁主筋の継手、定着及び余長・　標準仕様書各部配筋参考図3.1による　図示】
【あばら筋の組立の形及び割付け等　標準仕様書各部配筋参考図3.2による　図示】
【梁の打増し補強　・　標準仕様書各部配筋参考図3.3による　図示】
【小梁主筋の継手、定着及び余長・　標準仕様書各部配筋参考図3.4による　図示】
【片持梁主筋の定着及び余長　・　標準仕様書各部配筋参考図3.5による　図示】
【壁の基準配筋　・　標準仕様書各部配筋参考図4.1による　図示】
【壁の継手及び定着　・　標準仕様書各部配筋参考図4.2による　図示】
【壁の交差部及び端部の配筋　・　標準仕様書各部配筋参考図4.3による　図示】
【壁の開口部補強　・　標準仕様書各部配筋参考図4.4による　図示】
【壁の打増し補強　・　標準仕様書各部配筋参考図4.5による　図示】
【ﾊﾞﾗﾝｽﾄの配筋　・　標準仕様書各部配筋参考図4.6による　図示】
【ｽﾗﾌﾞの基準配筋　・　標準仕様書各部配筋参考図5.1による　図示】
【ｽﾗﾌﾞ筋の定着及び受け筋　・　標準仕様書各部配筋参考図5.2による　図示】
【片持ｽﾗﾌﾞの基準配筋　・　標準仕様書各部配筋参考図5.3による　図示】
【片持ｽﾗﾌﾞ先端に壁が付く場合の配筋　標準仕様書各部配筋参考図5.4による　図示】
【ｽﾗﾌﾞの開口部補強　・　標準仕様書各部配筋参考図5.5による　図示】
【出隅及び入隅部の補強配筋　・　標準仕様書各部配筋参考図5.6による　図示】
【ｽﾗﾌﾞの打継ぎ補強配筋等　・　標準仕様書各部配筋参考図5.7による　図示】
【段差のあるｽﾗﾌﾞの補強配筋　・　標準仕様書各部配筋参考図5.8による　図示】
【片持ｽﾗﾌﾞ形階段の基準配筋　・　標準仕様書各部配筋参考図6.1による　図示】
【二辺固定ｽﾗﾌﾞ形階段の基準配筋・　標準仕様書各部配筋参考図6.2による　図示】
【梁貫通孔の配筋　・　標準仕様書各部配筋参考図7.1による　図示】
【梁貫通孔の補強形式　・　標準仕様書各部配筋参考図7.2による　図示】
【ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ帳壁との取合い　・　標準仕様書各部配筋参考図7.3による　図示】

④鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)
※最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)　(5.3.5)
軽量ｺﾝｸﾘｰﾄで土に接する部分　⊙無し
・有り　適用箇所(　　)

耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・無し
・有り　適用箇所(　　)

5 機械式継手及び溶接継手
使用箇所　※図示による(　　)　(5.5.2)
性能(H12建告第1463号に適合するもの)　・A級　・　(5.5.2)
機械式継手の種類(　　)　(5.5.2)(5.3.5)
鉄筋相互のあき　・図示による(　　)　・標準仕様書5.3.5(d)による
品質の確認方法　・図示による(　　)　(5.5.2)
不良となった継手の修正方法等　・図示による(　　)　(5.5.2)

6 圧接完了後の試験
外観試験　※行う(全数)　(5.4.9)
抜取試験　※超音波探傷試験
試験の箇所数等　・標準仕様書5.4.9、5.4.10による　・
試験片の採取数は、1ﾛｯﾄに対して(※3本　・　)とする

⑥ コンクリート工事

① レディーミクストコンクリート製造工場
※品質管理監督検査合格工場(○適ﾏｰｸ取得工場)

② コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度
普通ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度　(6.2.1)(6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)

設計基準強度 (N/mm2)	ｽﾗﾝﾌﾟ	適用箇所
・21		
⊙24	15	
・24		

軽量ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度　(6.2.1)(6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)

設計基準強度 (N/mm2)	ｽﾗﾝﾌﾟ	適用箇所

③ コンクリート種別
種別　(6.2.1)
※Ⅰ類(JIS A 5308への適合を認証されたｺﾝｸﾘｰﾄ)
・Ⅱ類(JIS A 5308に適合したｺﾝｸﾘｰﾄ)

④ 気乾単位容積質量
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ　⊙2.3t/m3程度　・　(6.2.3)
軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ　・1.6t/m3程度　・1.95t/m3程度　・　(6.10.1)

5 コンクリートの仕上り
部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値　(6.2.5)(表6.2.3)
・標準仕様書　表6.2.3による　・
合板せき板を用いるｺﾝｸﾘｰﾄの打放し仕上げ　(6.2.5)(6.6.6)(6.8.3)(表6.2.4)

種別	適用箇所
・ A種	
・ B種	
・ C種	

⑥セメント
種類　(6.3.1)(6.13.2)(表6.3.1)
※普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ又は混合ｾﾒﾝﾄのＡ種
普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。
・高炉ｾﾒﾝﾄB種 (1SL以下の部分)
・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種

⑦骨材
ｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応性による区分　※A　・B　(6.3.1)

⑧混和材料
⊙混和剤の適用(⊙AE減水剤　・高性能AE減水剤　・　)(6.3.1)
・混和材の適用(ﾌﾗｲｱｯｼｭⅠ種又はⅡ種　・高炉ｽﾗｸﾞ　・膨張材　・　)

9 ひび割れ誘発目地、打継目地
目地寸法　※「9防水工事　ｱｼｰﾘﾝｸﾞ」による　(6.6.3)(6.8.2)(9.7.3)
間隔・位置・形状　※図示　(6.8.2)

10 打増し厚さ(打放し仕上げ部)
・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)　(6.8.2)
・20mm　・15mm
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・15mm　・

⑦ 鉄骨工事

⑪型枠
せき板の材料及び厚さ　⊙合板(⊙12mm　・　)　・　(6.8.3)
断熱材の兼用　⊙行わない　・行う　(6.8.3)
MCR工法用ｼｰﾄ　・用いる　⊙用いない　(6.8.3)
打増し厚さ　・20mm　・
打増し範囲　図示による(　　)　・
(6.8.3)(表6.8.1)
ｽﾘｰﾌﾞの材種　※標準仕様書6.8.3(i)(2)及び標準仕様書表6.8.1による
(6.10.1)(表6.10.1)

12 軽量コンクリート
(6.10.1)

13 寒中コンクリート
(6.11.1)
・積算温度を基に定める場合　・図示による(　　)　・

14 暑中コンクリート
構造体強度補正値(S)　※6N/mm2　(6.12.2)

15 マスコンクリート
ｾﾒﾝﾄの種類　・中庸熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　(6.13.2)
・低熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ
・高炉ｾﾒﾝﾄB種
・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種
・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄにJIS A 6206に適合するｺﾝｸﾘｰﾄ用高炉ｽﾗｸﾞ粉末の4000を混合したもの
適用箇所　※図示による(　　)　・
・混和材
混和材の種類　※JIS A 6206に適合するｺﾝｸﾘｰﾄ用高炉ｽﾗｸﾞ微粉末の4000
・
・混和剤
混和剤の種類※JIS A 6204に適合するAE減衰材又は高性能減衰材

ｽﾗﾝﾌﾟ　※15cm　・

16 無筋コンクリート
無筋ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度　(6.14.1)(6.14.3)

設計基準強度 (N/mm2)	ｽﾗﾝﾌﾟ	適用箇所
※18	※15又は18	※標準仕様書6.14.1(e)　・図示
・		
・		

17 流動化コンクリート
適用箇所　・図示による(　　)　・　(6.2.1)(6.15.1)

18 耐震スリット

方向	ﾀｲﾌﾟ	耐火性能	防水性能	備考
・垂直方向 ・水平方向	※完全(全貫通型)	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	

目地(目地材の材質は標準仕様書9.6.1による)
目地寸法(mm)　・幅20×深さ10　・
施工箇所　※図示

19 止水板
形式　・差込式　・据置式　・壁張り式
施工位置　※図示

① 鉄骨の製作工場
※建築基準法に基づき性能評価を受けた製作工場で、下記に認定された製作工場
・Sｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Hｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Mｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Rｸﾞﾚｰﾄﾞ　・Jｸﾞﾚｰﾄﾞ
・上記のもの以外の製作工場(・監督員の承諾する製作工場　・　)

② 施工管理技術者
※適用する　・適用しない　(7.1.3)(7.1.4)(7.6.2)(7.12.2)

③ 鋼材

種類の記号	適用箇所(主要な部分)	
SS400	梁・床	⊙JIS規格による
SSC400	根太	⊙JIS規格による
STKR400	柱	⊙JIS規格による
SNR400	ブレース	⊙JIS規格による
		・JIS規格による
		・JIS規格による

④ 高力ボルト
ﾎﾞﾙﾄの区分　(7.2.2)(7.3.2)
・ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ　⊙JIS形高力ﾎﾞﾙﾄ
すべり係数試験　※行わない　・行う　(7.4.2)
試験方法等　・図示による(　　)　・

5 普通ボルト
ﾎﾞﾙﾄ及びﾅｯﾄの材料　(7.2.3)(7.3.2)
・標準仕様書7.2.3による　・
座金　・標準仕様書 7.2.3(d)による　・
ﾎﾞﾙﾄの径　・図示による(　　)　・
ﾎﾞﾙﾄの縁端距離、ﾎﾞﾙﾄの間隔、ｹﾞｰｼﾞ等　・図示による(　　)　・

⑥ 溶融亜鉛めっき高力ボルト
摩擦面の処理　(7.2.2)(7.12.4)
・ﾌﾞﾗｽﾄ処理（表面粗度50μmRz以上）　・りん酸塩処理
すべり耐力等の確認方法
※すべり係数試験　試験方法等　・図示による(　　)　・

⑦ アンカーボルト
適用　⊙建方用ｱﾝｶｰ　(7.2.4)(7.10.3)
材質　⊙SS400　・
・構造用ｱﾝｶｰ
材質　・SNR400B　・
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ及びﾅｯﾄのねじの種類の規格、及び仕上げの程度　(7.2.4)(表7.2.3)
※標準仕様書　表7.2.3による　・

⑧ 溶接材料
溶接材料 ⊙標準仕様書7.2.5(a)(b)による。　(7.2.5)
・標準仕様書7.2.5(a)(b)以外の溶接材料

9 デッキプレート
材質、形状及び寸法　(7.2.7)

	適用箇所	材質・形状・寸法	備考
・構造床			
・合成ｽﾗﾌﾞ			
・床型枠用鋼製ﾃﾞｯｷ			

工事名	(そー4) 昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事				
工事場所	昭和町西条2387 (昭和北方水源内)				
図面名	開閉台 特記仕様書(2)	縮尺	―――	分割	A－002
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.		

開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む)　・図示による(　　)　・
鉄骨部材への溶接方法　・図示による(　　)　・　(7.7.8)
耐火認定　・有り　・無し
耐火時間　・図示による(　　)　・

10 スタッド

材質、形状及び寸法
※頭付きｽﾀｯﾄﾞJIS B 1198　・

呼び長さ(mm)　呼び名		適用箇所
・16		
・19		
・22		

⑪柱底均しモルタル

ﾓﾙﾀﾙの種別　※無収縮ﾓﾙﾀﾙ　・　(7.2.9)
柱底均しﾓﾙﾀﾙの厚さ　・50mm　⊙30mm　・

⑫工作図

原寸図の作成　⊙行う　・行わない　(7.3.2)

※増築工事等を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測の上、
工作図を作成すること

13鉄骨の仮組

・行う　・行わない　(7.3.10)
仮組を行う範囲　・図示による(　　)　・
確認方法、確認項目　・図示による(　　)　・
※行わない　・行う

⑭溶接作業における技能資格者

溶接作業者の技量付加試験　(7.6.3)
試験の要領　・

⑮溶接接合

開先の形状　・図示による(　　)　・　(7.6.4)
ｽｶﾗｯﾌﾟの形状　・図示による(　　)　・　(7.6.7)
ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞを切除する部分　・見え掛り部となる部分(・図示による(　　)　・　)

溶接部の余盛り高さ　・JASS 付則6「鉄骨精度検査基準」付表3「溶接」による　・

※固形ﾌﾗｯｸｽﾀﾌﾞの使用
固形ﾌﾗｯｸｽﾀﾌﾞを使用する場合はAW検定技能会議の実施する認定試験の合格者
若しくは、日本ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞ協会の実施する施工講習会受講者が施工すること。

⑯溶接部の試験

完全溶け込み部の超音波探傷試験　(7.6.11)(表7.6.2)(表7.6.3)
※行う　・行わない
・工場溶接の場合　AOQL(%)　※4.0　・2.5

節	・全て	・	・	・
検査水準	※第6水準	・	・	・

・現場溶接の場合　AOQL(%)　※4.0　・2.5
突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査
「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強ﾏﾆｭｱﾙ」による
・抜き取り検査①　※抜き取り検査②

17錆止め塗装

素地ごしらえ　※C種　(7.8.3)(18.2.3)
錆止め塗料(工場1回・現場1回塗)
屋外(※JIS K 5674　・　　)
屋内(・JIS K 5674　※JASS 18 M−111　・　　)

18耐火被覆

種別　(7.9.2～7.9.7)

種別	材料・工法	適用箇所(部位・部分)
・耐火材吹付け	・乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・半乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・湿式ﾛｯｸｳｰﾙ	
	・	
	・	
・耐火板張り	・繊維混入けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	
	・	
・耐火材巻付け	・高断熱ﾛｯｸｳｰﾙ	
	・	
・ﾗｽ張りﾓﾙﾀﾙ塗り	―	

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする
性能

性能	適用箇所(部位・部分)
・30分耐火	
・45分耐火	
・1時間耐火	
・2時間耐火	

⑲アンカーボルトの保持及び埋込み工法

構造用ｱﾝｶｰﾌﾚｰﾑの形状及び寸法　(7.2.4)(7.10.3)
・図示による(　　)　・
建方用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの保持及び埋込み工法　(表7.10.1)
種別　・A種　・B種　・C種

20軽量形鋼構造

接合部(ﾎﾞﾙﾄ接合の場合)　・普通ﾎﾞﾙﾄ接合　・　(7.11.2)

㉑溶融亜鉛めっき

※標準仕様書7.12.3による　・　(7.12.3)

⑭ 金属工事

1 ステンレスの表面仕上げ

(14.2.1)

種類	施工箇所(手すり、ﾀﾗｯﾌﾟ、建具以外)
※HL程度	
・鏡面仕上程度	
・No.2B程度	

2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)(表 14.2.1)

種別	皮膜又は複合皮膜の種類	施工箇所(成形板、笠木、建具以外)
・A-1種	※AA15　・	
・A-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ)	※AA15　・	
・B-1種	※B　・	
・B-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ)	※B　・	
・C-1種	※AA6　・	
・C-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ)	※AA6　・	
・D種		

陽極酸化皮膜の着色方法　※二次電解着色　・三次電解着色

3 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)

表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、ﾀﾗｯﾌﾟ以外)
・溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
・電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

4 軽量鉄骨天井下地

特定天井　・適用する　・適用しない
(14.4.2～4)(表14.4.1)
屋外　※25形　・19形　屋内　※19形　・25形
・屋外の軒天井、ﾋﾟﾛﾃｨ天井等
工法　建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1　・1.15　・1.3)倍の
風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・適用しない
野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ及びｲﾝｻｰﾄの間隔　・図示　・
周辺部の端からの間隔　・図示　・
野縁の間隔　・図示　・
・吊りﾎﾞﾙﾄの間隔が900mmを超える場合　補強方法　※図示　・
・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合
補強方法　※標準仕様書14.4.4(h)(1)～(2)による　・図示
・天井のふところが3.0mを超える場合　補強方法　※図示　・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強　補強箇所　・図示　・
補強方法　※図示　・

5軽量鉄骨壁下地

ｽﾀｯﾄﾞ、ﾗﾝﾅｰの種類　(14.5.3)(表 14.5.1)
・標準仕様書表14.5.1によるｽﾀｯﾄﾞの高さによる区分に応じた種類　※図示
ｽﾀｯﾄﾞの高さが5.0mを超える場合　※図示　・

6金属成形板張り

(14.6.2、3)(表 14.2.1)

種別	製法	形状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理 種別	表面処理 皮膜等の種類
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ	・押出し・ﾛｰﾙ	ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形			・B-1種	※B　・
					・B-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ)	※B　・
	・ﾌﾟﾚｽ	ﾊﾟﾈﾙ形				
					・C-1種	※AA6　・
					・C-2種(・ｱﾝﾊﾞｰ・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ・ﾌﾞﾗｯｸ系・ｽﾃﾝｶﾗｰ)	※AA6　・
					・D種	

取付け用下地　※標準仕様書14.4による　・図示
伸縮調整継手　・設ける(施工箇所　・図示　・　　)　・設けない

7 アルミニウム製笠木

種類　・250形　・300形　・350形　・100形　(14.7.2、3)(表 14.2.1)(表 14.7.1)
表面処理　種別(B-1)種　皮膜等の種類(※標準仕様書表14.2.1による　・　)
着色(・ｱﾝﾊﾞｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・ﾌﾞﾗｯｸ系　・ｽﾃﾝｶﾗｰ)
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1　・1.15　・1.3)倍の
風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・適用しない

⑧ 手すり及びタラップ

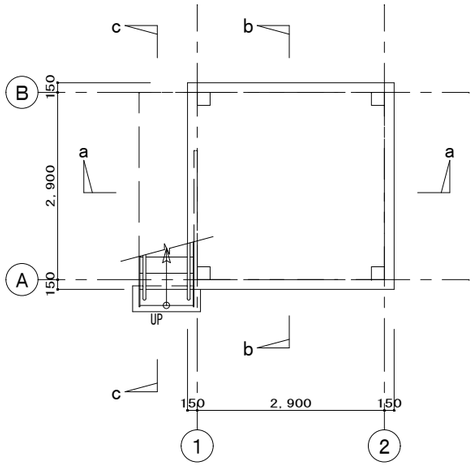
(14.8.2、3)
手すり　・ｽﾃﾝﾚｽ製　SUS304(表面処理　※HL程度　・No.2B程度　・　)
⊙ 鋼製　(表面処理　⊙溶融亜鉛めっきC種　・　)
ﾀﾗｯﾌﾟ　・ｽﾃﾝﾚｽ製　SUS304(表面処理　※研磨なし　・　)
・鋼製　(表面処理　※溶融亜鉛めっきC種　・　)

9 エキスパンションジョイント金物

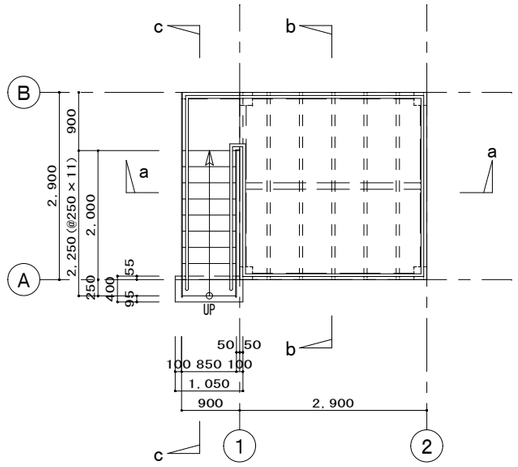
材　質　・ｱﾙﾐﾆｳﾑ　・ｽﾃﾝﾚｽ
ｸﾘｱﾗﾝｽ　・50　・100　・150　・200
耐火性能　・有り(　　)　・無し

工事名	(そー4)昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事				
工事場所	昭和町西条2387(昭和北方水源内)				
図面名	開閉台 特記仕様書(3)	縮尺	―――	分割	A−003
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.		

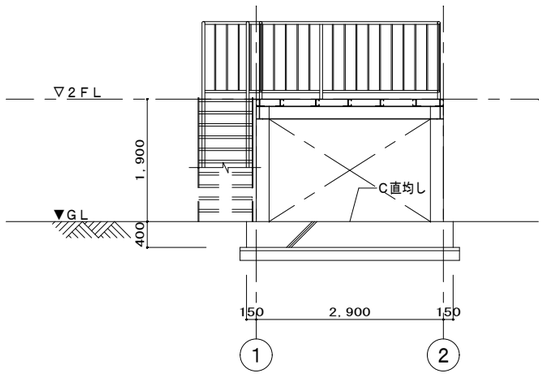
取水井６・７・１１号新設鋼製架台詳細図　※全て鋼製とし溶融亜鉛メッキを行う。（現場溶接は行わないこととする。）



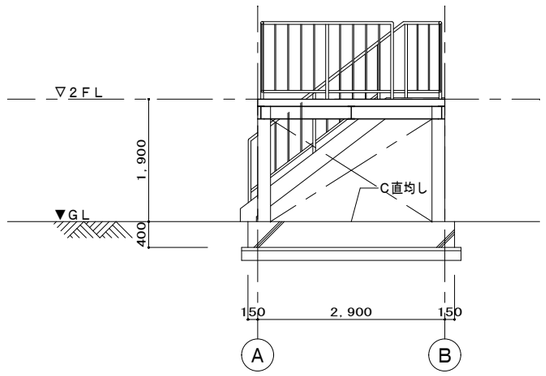
基礎部平面図　S=1:50



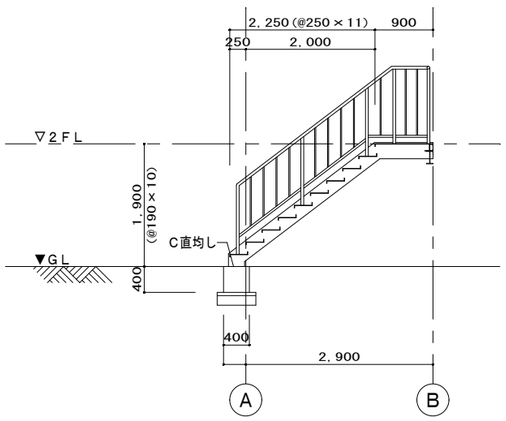
２階平面図　S=1:50



ａ－ａ断面図　S=1:50

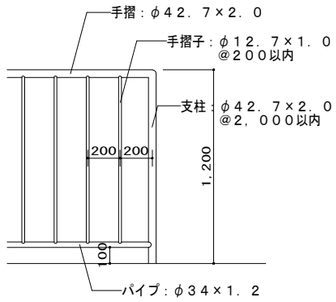


ｂ－ｂ断面図　S=1:50

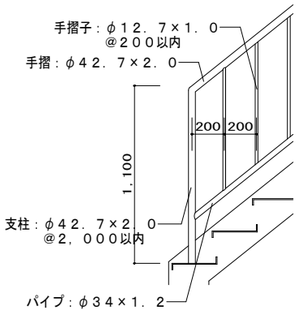


ｃ－ｃ断面図　S=1:50

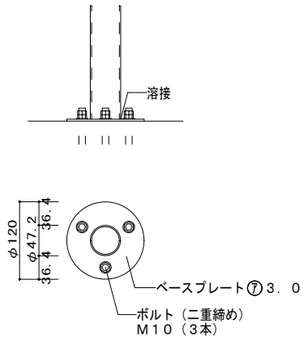
鋼製手摺詳細図　※全て溶融亜鉛メッキとする。　S=1:5･1:20



平部詳細図　S=1:20



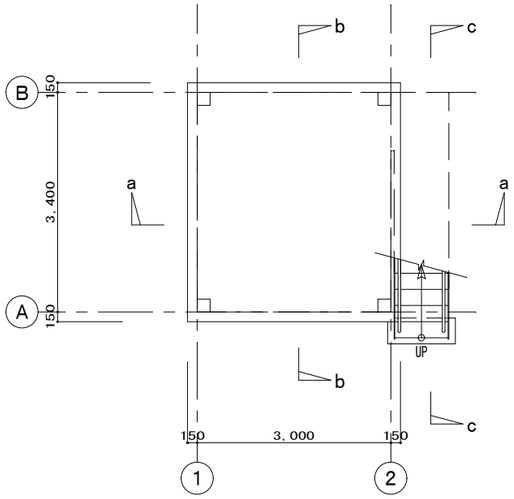
段部詳細図　S=1:20



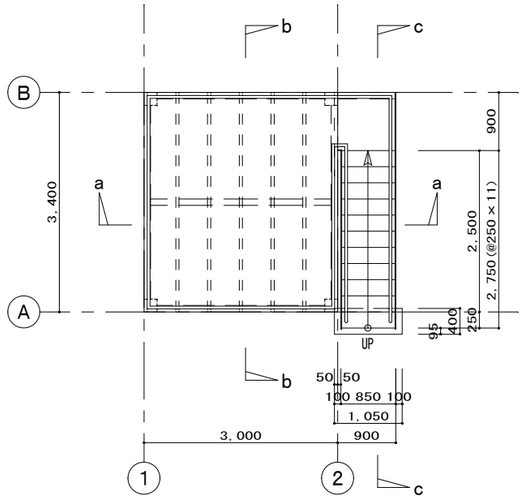
柱脚部　S=1:5

工事名	（そ－４）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事				
工事場所	昭和町西条2387（昭和北方水源内）				
図面名	取水井６・７・１１号 新設鋼製架台 詳細図	縮尺	A1 S=1:5・20・50 A3 S=1:10・40・100	分割	A－004
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.		

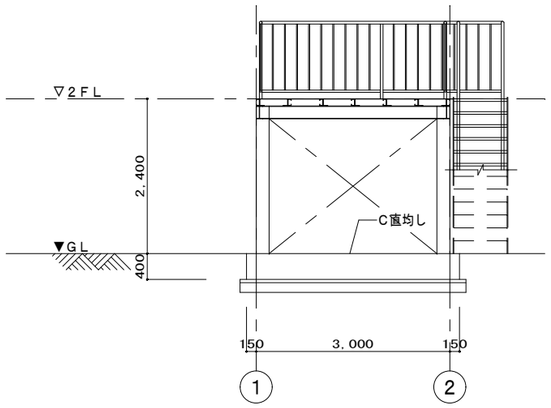
取水井８号新設鋼製架台詳細図 ※全て鋼製とし溶融亜鉛メッキを行う。（現場溶接は行わないこととする。）



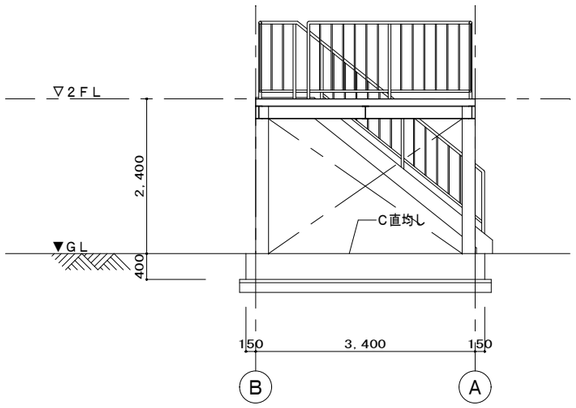
基礎部平面図　S=1:50



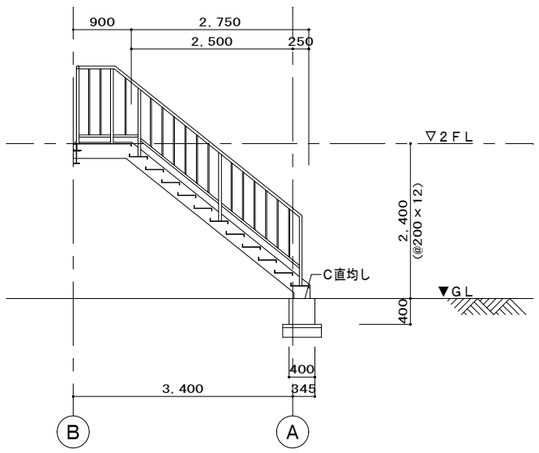
２階平面図　S=1:50



ａ－ａ断面図　S=1:50

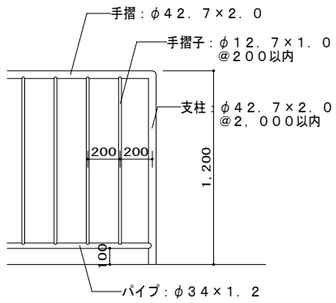


ｂ－ｂ断面図　S=1:50

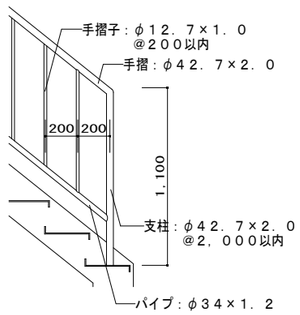


ｃ－ｃ断面図　S=1:50

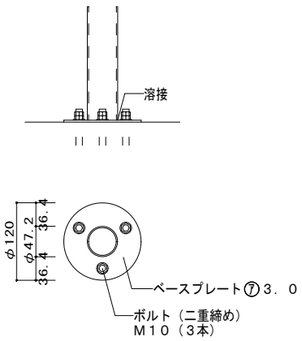
鋼製手摺詳細図　※全て溶融亜鉛メッキとする。　S=1:5･1:20



平部詳細図　S=1:20



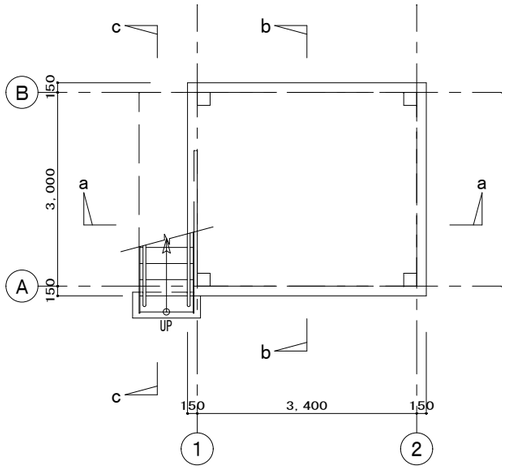
段部詳細図　S=1:20



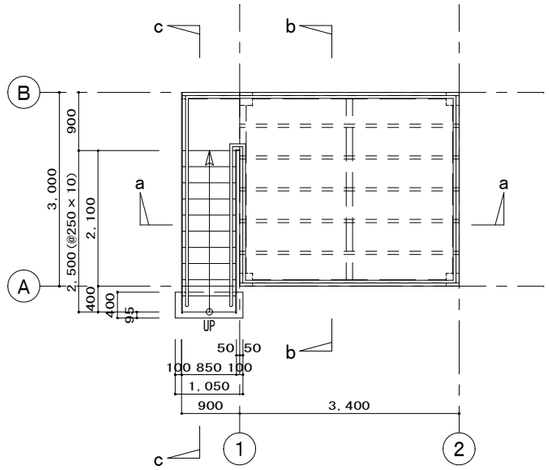
柱脚部　S=1:5

工事名	（そ－４）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事				
工事場所	昭和町西条2387（昭和北方水源内）				
図面名	取水井8号 新設鋼製架台 詳細図	縮尺	A1 S1=1:5・20・50 A3 S1=1:10・40・100	分割	A－005
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.		

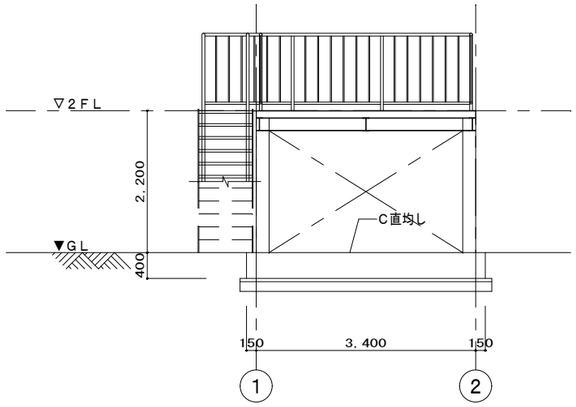
取水井９号新設鋼製架台詳細図 ※全て鋼製とし溶融亜鉛メッキを行う。（現場溶接は行わないこととする。）



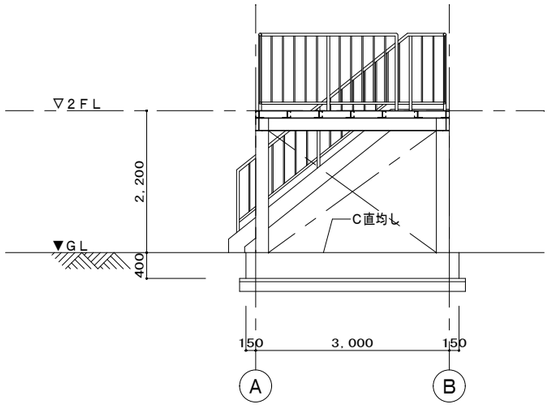
基礎部平面図　S=1:50



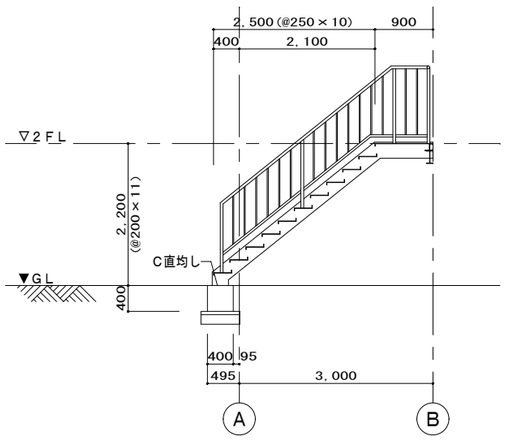
２階平面図　S=1:50



ａ－ａ断面図　S=1:50

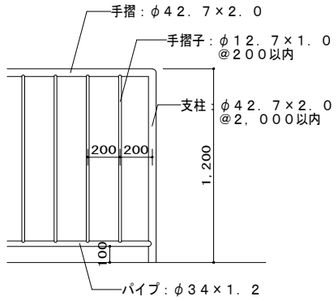


ｂ－ｂ断面図　S=1:50

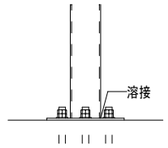


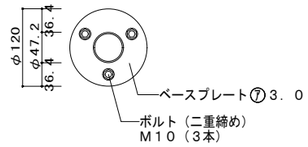
ｃ－ｃ断面図　S=1:50

鋼製手摺詳細図　※全て溶融亜鉛メッキとする。　S=1:5･1:20

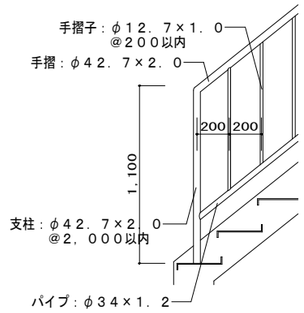


平部詳細図　S=1:20





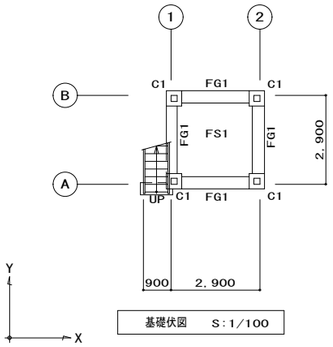
柱脚部　S=1:5



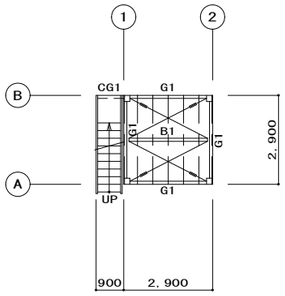
段部詳細図　S=1:20

工事名	（そ－４）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事						
工事場所	昭和町西条2387（昭和北方水源内）						
図面名	取水井9号 新設鋼製架台 詳細図	縮尺	A1 S1=1:5・20・50 A3 S1=1:10・40・100	分割	A－006		
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.				

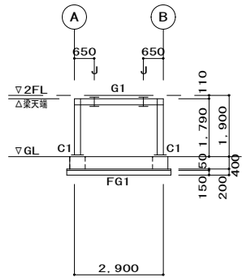
取水井６・７・１１号新設鋼製架台　構造図



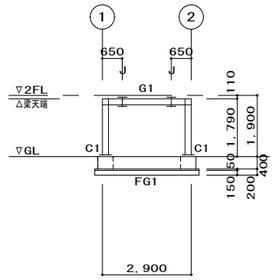
基礎伏図　S:1/100



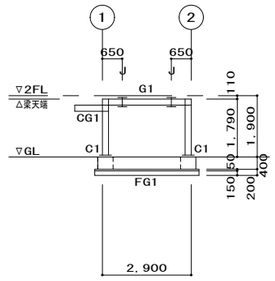
梁伏図　S:1/100



1・2通り軸組図 S:1/100



A通り軸組図　S:1/100



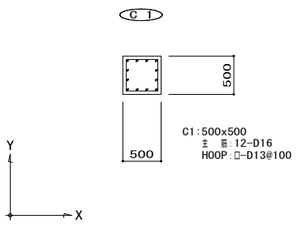
B通り軸組図　S:1/100

鉄骨部材一覧

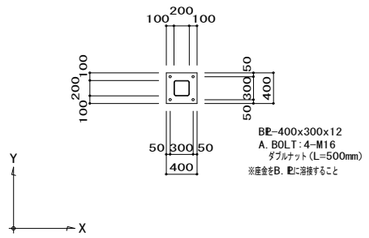
符　号	部　材	規　格
C1	□-200x200x6	STKR400
G1	H-200x100x5.5x8	SS400
B1	H-148x100x 6 x9	SS400
CG1	H-200x100x5.5x8	SS400
水平ブレース	M16(JISターンバックル付き)	SNR400
根太	C-100x50x20x2.3 @500	SSC400
床	C.PL-4.5	SS400

H.T.B S8T

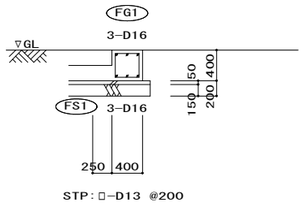
柱型リスト　S:1/40

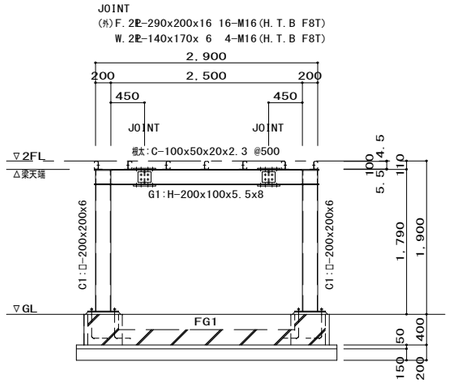


柱脚詳細図　S:1/40



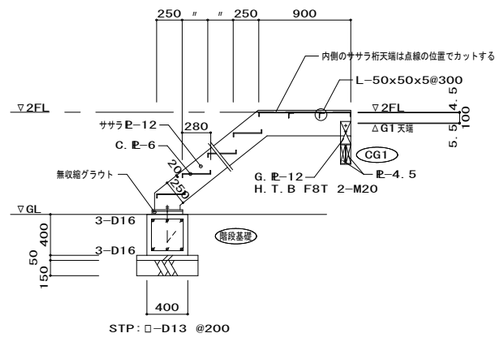
基礎梁リスト　S:1/40





鉄骨詳細図　S:1/40

鉄骨階段詳細図　S:1/30

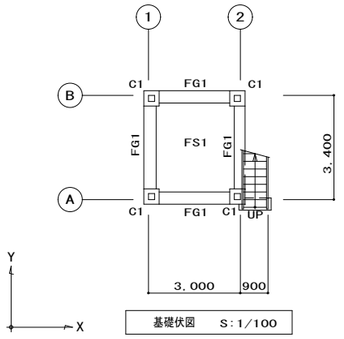


スラブリスト

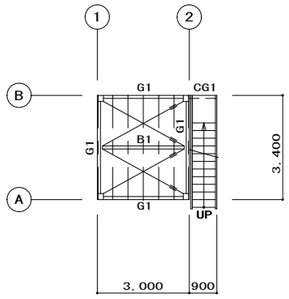
符　号	厚　さ	位　置	短辺方向配筋		長辺方向配筋		備　考
			端　部	中央部	端　部	中央部	
FS1	200	上端筋	D13 @200	←―	D13 @200	←―	
		下端筋	D13 @200	←―	D13 @200	←―	
		上端筋					
		下端筋					
		上端筋					
		下端筋					
		上端筋					
		下端筋					

工事名	(そー4)昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事				
工事場所	昭和町西条2387(昭和北方水源内)				
図面名	取水井6・7・11号 新設架台 構造図	縮尺	A1 S1=1:30・40・100 A3 S1=1:60・80・200	分割	S-001
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.		

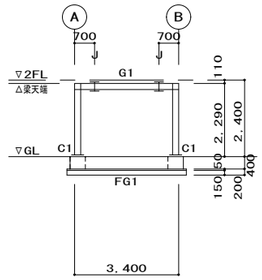
取水井８号新設鋼製架台　構造図



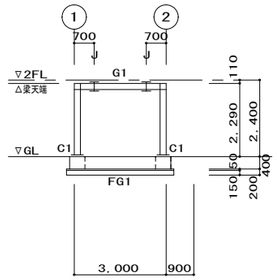
基礎伏図　S：1/100



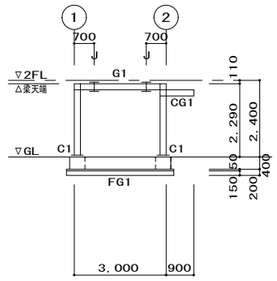
梁伏図　S：1/100



1・2通り軸組図 S：1/100



A通り軸組図　S：1/100



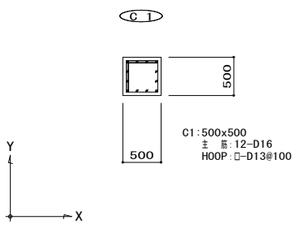
B通り軸組図　S：1/100

鉄骨部材一覧

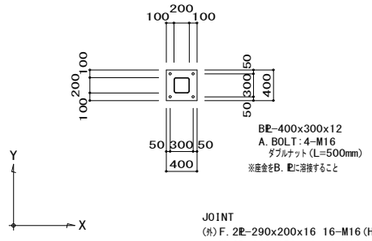
符　号	部　材	規　格
C1	□-200x200x6	STKR400
G1	H-200x100x5.5x8	SS400
B1	H-148x100x 6 x9	SS400
CG1	H-200x100x5.5x8	SS400
水平ブレース	M16（JISターンバックル付き）	SNR400
根太	C-100x50x20x2.3 @500	SSC400
床	C.PL-4.5	SS400

H.T.B S8T

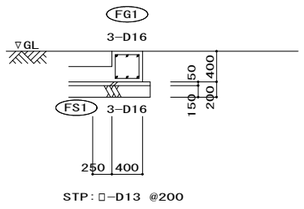
柱型リスト　S：1/40

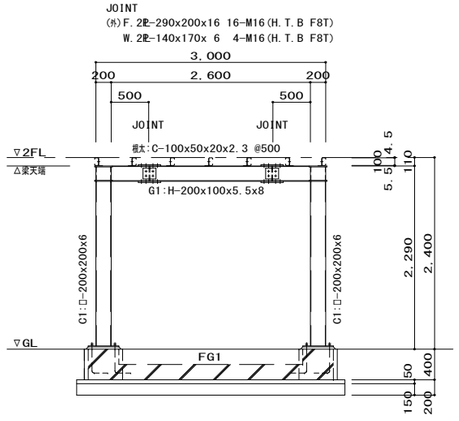


柱脚詳細図　S：1/40



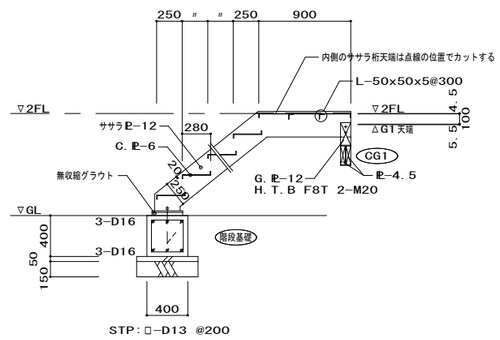
基礎梁リスト　S：1/40





鉄骨詳細図　S：1/40

鉄骨階段詳細図　S：1/30

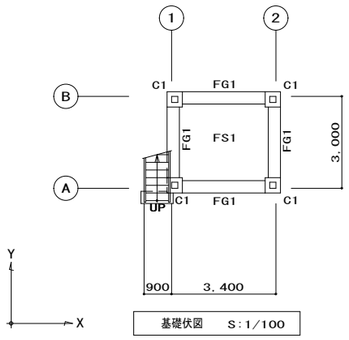


スラブリスト

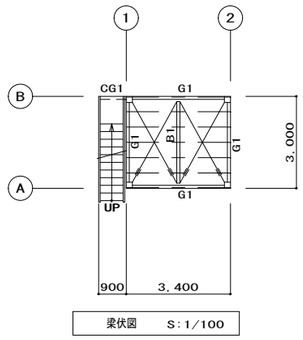
符　号	厚　さ	位　置	短辺方向配筋		長辺方向配筋		備　考
			端　部	中央部	端　部	中央部	
FS1	200	上端筋	D13 @200	〃	D13 @200	〃	
		下端筋	D13 @200	〃	D13 @200	〃	
		上端筋					
		下端筋					
		上端筋					
		下端筋					
		上端筋					
		下端筋					

工事名	（そー４）昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事				
工事場所	昭和町西条2387（昭和北方水源内）				
図面名	取水井8号 新設架台　構造図	縮尺	A1 S1=1:30・40・100 A3 S1=1:60・80・200	分割	S－002
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.		

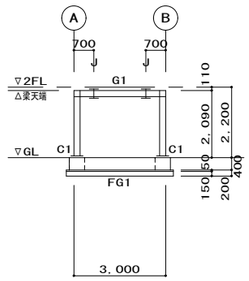
取水井 9 号新設鋼製架台　構造図



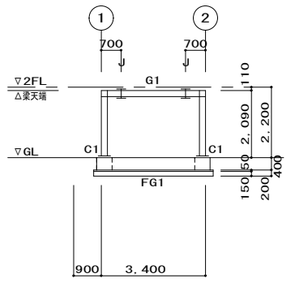
基礎伏図　S:1/100



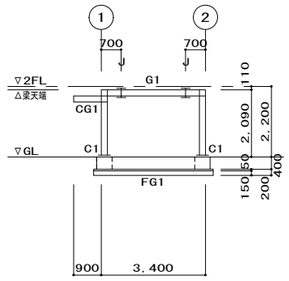
梁伏図　S:1/100



1・2通り軸組図 S:1/100



A通り軸組図　S:1/100



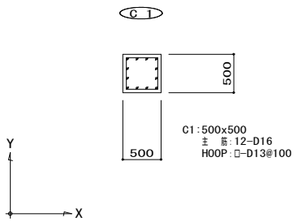
B通り軸組図　S:1/100

鉄骨部材一覧

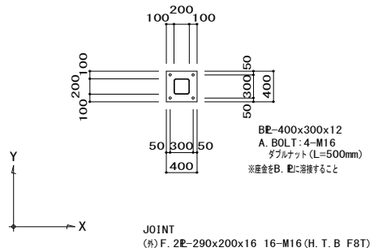
符　号	部　材	規　格
C1	□-200x200x6	STKR400
G1	H-200x100x5.5x8	SS400
B1	H-148x100x 6 x9	SS400
CG1	H-200x100x5.5x8	SS400
水平ブレース	M16(JISターンバックル付き)	SNR400
根太	C-100x50x20x2.3 @500	SSC400
床	C.PL-4.5	SS400

H.T.B S8T

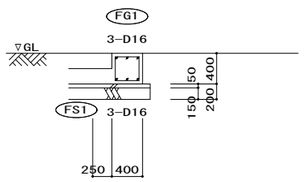
柱型リスト　S:1/40



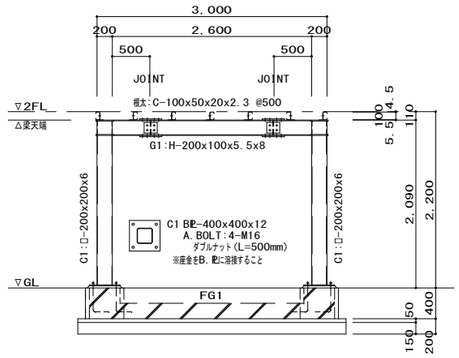
柱脚詳細図　S:1/40



基礎梁リスト　S:1/40

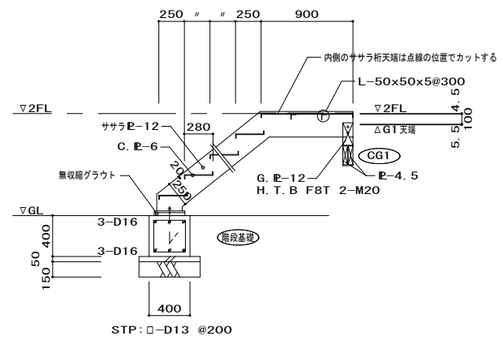


STP:□-D13 @200



鉄骨詳細図　S:1/40

鉄骨階段詳細図　S:1/30



STP:□-D13 @200

スラブリスト

符　号	厚　さ	位　置	短辺方向配筋		長辺方向配筋		備　考
			端　部	中央部	端　部	中央部	
FS1	200	上端筋	D13 @200	←—	D13 @200	←—	
		下端筋	D13 @200	←—	D13 @200	←—	
		上端筋					
		下端筋					
		上端筋					
		下端筋					
		上端筋					
		下端筋					

工事名	(そー4)昭和北方水源取水制御盤ほか浸水対策工事					
工事場所	昭和町西条2387(昭和北方水源内)					
図面名	取水井9号 新設架台　構造図	縮尺	A1 S1=1:30・40・100 A3 S1=1:60・80・200	分割	S-003	
甲府市上下水道局	契約番号		マイクロNo.			